

令和2年度

区長と語る会結果報告書

東京都台東区

この報告書は、令和2年度に開催いたしました「区長と語る会」での質問及び回答をまとめたものです。

「区長と語る会」は、区長が直接区民の皆さまからご意見・ご要望等をお聴きし、貴重なご意見として、区政に反映させることを目的に開催しております。

今年度は、地区町会連合会及び区内で活躍する団体のご意見として台東区スポーツ推進委員協議会の皆さま、青年のご意見として「新成人を祝う会」実行委員会の皆さまとの語る会を開催いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、感染防止のため、対面による開催を中止し、書面による開催といたしました。

いただきましたご意見・ご提案等につきましては、直ちに担当部署に報告し、可能なものは実施に向け、課題につきましては関係機関と解決に向け、取り組んでまいります。

最後に、語る会の開催にあたりご協力をいただきました皆さまに、心から感謝申し上げます。

令和3年3月

台東区総務部 広報課

「区長と語る会」開催日

対 象	開 催 日
谷中地区町会連合会	9月 4日 (金)
金杉地区町会連合会	9月 4日 (金)
入谷地区町会連合会	9月 7日 (月)
上野地区町会連合会	9月 8日 (火)
清川地区町会連合会	9月 9日 (水)
浅草橋地区町会連合会	10月 2日 (金)
浅草寿地区町会連合会	11月 6日 (金)
台東区スポーツ推進委員協議会 (区内活躍団体)	11月24日 (火)
「新成人を祝う会」 実行委員会	12月 2日 (水)
東上野地区町会連合会	12月 4日 (金)
馬道地区町会連合会	12月 4日 (金)
雷門地区町会連合会	12月 7日 (月)
竹町地区町会連合会	12月 8日 (火)

目 次

「台東区町会連合会との語る会」

《谷中地区町会連合会》

- ◇ワンルームマンションの町会加入促進について 1
- ◇児童遊園の遊具の改修について 2
- ◇災害緊急避難場所でのコロナ感染者の隔離の方法について 2
- ◇災害時の避難場所について 3
- ◇非常時における帰宅困難者への対応について 4

《金杉地区町会連合会》

- ◇避難所の変更・要望について 5
- ◇自転車の危険運転について 6
- ◇駐輪自転車の抜本的対策について 7
- ◇コロナ禍への検証について 8

《入谷地区町会連合会》

- ◇入谷老人福祉館の跡地利用について 9

◇昭和通りへの中央分離帯の設置について	9
---------------------	---

◇オンライン授業について	10
--------------	----

◇入谷地区における二つの大規模用地の活用について	11
--------------------------	----

《上野地区町会連合会》

◇東西めぐりん停留所について	13
----------------	----

◇上野地下駐車場建設時に出た石について	13
---------------------	----

◇商店街の感染症対策と商業振興について	14
---------------------	----

◇外部委託している業務について	15
-----------------	----

◇「駅ピアノ」の設置について	15
----------------	----

《清川地区町会連合会》

◇防災訓練の実施方法について	17
----------------	----

◇玉姫公園の状況について	18
--------------	----

◇町会への経済支援について	18
---------------	----

◇コロナ禍における避難所の対応について	19
---------------------	----

◇ふるさと納税の導入について	19
----------------	----

《浅草橋地区町会連合会》

◇新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい経済活動への支援について	21
-----------------------------------	----

◇風水害時の対応について	22
--------------	----

◇地域住民とのコミュニケーションを深めるために	23
-------------------------	----

◇浅草橋駅周辺まちづくりについて	24
------------------	----

《浅草寿地区町会連合会》

◇東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて	25
-----------------------------	----

◇防災行政無線を有効に使うために	26
------------------	----

◇町会内の情報把握について	27
---------------	----

◇買物券の配付をして購買促進につなげては	28
----------------------	----

◇芸術・文化・スポーツ活動の隆盛のために	29
----------------------	----

◇地域のさらなる安全・安心の確保のために	30
----------------------	----

《東上野地区町会連合会》

- ◇資源回収ボックスの設置場所変更のお願いと水はけの悪い歩道の歩行者に及ぼす危険について 31
- ◇台東区役所発行の封筒・書類等に記載されている電話番号の市外局番の表示のあり方について 32
- ◇東上野地区避難所(仮)建設のお願いについて 33
- ◇道路上での喫煙と喫煙者の密、人と車の通行妨害について 34

《馬道地区町会連合会》

- ◇風水害時の避難行動及び避難場所について 35
- ◇新型コロナウイルス感染症対策について 36
- ◇新型コロナウイルス流行の中での区内経済の活性化について 37
- ◇自転車の運転マナーについて 38

《雷門地区町会連合会》

- ◇ホームレス対策とコンクリート芸術作品の撤去について 39
- ◇防火！火災警報器交換期にあたり 40
- ◇コロナ禍における東京都との連携について 41

《竹町地区町会連合会》

◇危険走行自転車対策について	43
◇歩道の商用占有の防止について	44
◇青色パトロール車の運用について	44
◇「住み良い街 台東」について	45
◇町会掲示板について	46
◇台東病院について	46

「台東区スポーツ推進委員協議会との語る会」

◇小学校のキャパシティと旧上野忍岡高校の跡地について	47
◇来年度のスポーツイベント及び放置自転車について	48
◇施設開放について	49
◇子育て支援について	50
◇第5世代移動通信システムを利用した台東区スポーツ推進について	51

「『新成人を祝う会』実行委員会との語る会」

◇台東区の観光業について	53
◇台東区内の美術館等への入場料について	54
◇地域活性化について	55
◇新成人に必要な心がけについて	56
◇待機児童について	57
◇マイナンバーカードについて	57
◇コロナ禍における三社祭・酉の市の実施について	58
◇台東区の性的マイノリティの方への配慮について	59
◇学生と町の関わりについて	60
◇広報紙について	61
◇路上生活者の支援について	62
◇駐輪場の増設について	63
◇ゴミ箱の設置について	63

◇観光客を取り戻すために 64

◇子ども食堂について 64

- ・この報告書は「区長と語る会」における質問と回答の要旨を記載いたしました。
- ・町会名や肩書きは「区長と語る会」開催時のものです。
- ・（※）は「区長と語る会」開催後の経過報告および補足事項を記載いたしました。
- ・対応の表示内容は以下のとおりです。

対応	実施済	対応中	今後対応	検討	他機関へ 要望	課題あり	事業説明
	◎	○	◇	☆	●	△	—

「台東区町会連合会との語る会」

《 谷 中 地 区 町 会 連 合 会 》

開催日：9月4日（金）

◇ワンルームマンションの町会加入促進について

質問	回答	対応
<p>現在、当町会ではワンルームマンションの建設ラッシュです。</p> <p>マンションの管理会社の多くは入居者の町会加入に関して「町会が直接入居者に加入を頼んでください」というだけで、個別に訪問しても対応拒否が多いのが現実です。</p> <p>町会費は居住者が安全に暮らすために必要な各方面への分担金や防犯カメラ・街路灯の維持費、防災積立て等多くの用途があります。安全安心な街に住む大きなメリットを地域住民は等しく享受しているのだから町会費をみんなが払うのが最善と考えます。</p> <p>横浜市港北区では、宅建協会と連携し、賃貸オーナーが町会費を支払う仕組みを導入しています。石川県金沢市では、集合住宅におけるコミュニティ組織を促進する条例を制定するなど、町会加入への行政の積極的な取り組みがみられます。</p> <p>台東区でも加入促進のリーフレットなどを作成していますが、管理会社やオーナーが町会費の意味を深く理解し、入居者に町会加入を促進する条例の制定等、更なる強化を切に希望いたします。</p>	<p>区民やマンション管理会社の皆さまに町会活動の意義、町会費の用途について深く理解していただくことはとても重要なことであると考えます。</p> <p>昨年実施しました「町会活動に関する意識調査」の結果でも、町会活動について広く周知し、理解を得ることが重要であるとのこと意見を多数いただいております。</p> <p>区では、建築事業者に対して、「集合住宅の建築及び管理に関する条例」に「町会等への加入に関する協力」という内容を盛り込み、町会加入について町会と事前に協議をするよう指導しております。また、転入者に対して、町会加入のリーフレットを配布するなど、加入促進に努めています。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、町会活動支援のためのアドバイザー派遣など予定していた事業の実施が困難となってしまいましたが、来年度以降、感染状況を見極めながら町会加入促進に資する事業を展開してまいります。</p>	☆

◇児童遊園の遊具の改修について

質問	回答	対応
<p>雨が降った後、乾くのにかかる遊具があります。拭けばすぐに利用できるような素材の遊具に交換してほしいです。部分的な改修はできないので全面的改修を行うまで待ってほしいとのことでしたが、臨機応変な対応をしてもらえないでしょうか。</p>	<p>ご指摘の谷中清水町公園のフラワーカップと呼ばれている回転系遊具は、平成23年度に設置され、設置後約10年が経過しておりますので、座面の木製部分が劣化し、雨の後に乾きにくい状況になっているようです。</p> <p>谷中清水町公園は、多くのお子さんが遊びに来る公園ですので、遊具の部分補修を行います。担当の公園課から連絡をするようにいたします。</p> <p>※令和2年11月、回転系遊具の劣化部分の取替を行いました。（公園課）</p>	◎

◇災害緊急避難場所でのコロナ感染者の隔離の方法について

質問	回答	対応
<p>当地域の災害緊急避難場所である谷中小学校体育館にコロナ感染者がいた場合、その家族や非感染者との隔離の方法はどの様に決まっているのでしょうか。</p> <p>また、町会として、会員の皆さんをどのように誘導していけばよいでしょうか。</p>	<p>災害時には、避難方法や避難所の運営、避難所での生活等、避難所運営マニュアルを参考に、各避難所の現状に合わせた運営をしていただくことになります。</p> <p>コロナ陽性者が避難されてきた場合、療養者専用のホテルに移動していただきますので、区へご連絡いただきますようお願いいたします。また、その方のご家族等が濃厚接触者に該当する場合には、別に専用の避難所等を開設し、経過観察を行います。</p> <p>そして、これまでの避難所運営マニュアルに加え、感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルを作成しており、避難所運営委員会の皆さまにも周知させていただきました。</p> <p>また、在宅避難の推奨や感染症対策資材の備蓄も同時に進めております。</p> <p>町会の皆さまにおかれましては、在宅避難が可能であれば自宅に留まっただき、避難所へ来られた場合は感染症対策マニュアルに沿った運営、ご協力をいただくよう誘導をお願いいたします。</p>	—

◇災害時の避難場所について

質問	回答	対応
<p>災害発生時、天王寺町会は五重塔跡公園に一時集合後、谷中小学校に移動することになっていますが、元来、谷中霊園一帯は上野地区の一部、荒川区からの避難場所として指定されており、わざわざ居住している安全な居住区から谷中小学校まで移動、確認報告するのは無駄があると考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>町会としては、天王寺駐在所脇あたりに避難するのがベストと考えます。</p> <p>救援物資等の受領は別途対応する方法があると思われれます。情報等についてはトランシーバーの活用、防災放送、また、警察からの情報、駐在所からの連絡について確認を得ています。</p>	<p>発災時には「必ず避難所に行かなければならない」ということではなく、ご自宅が安全であれば避難所に行く必要はありません。また、確認報告は、天王寺町会の皆さまが一時集合場所の天王寺公園に集まった際に、実施していただければ問題ありません。</p> <p>ご自宅が被災された方は、避難所で長期間生活を送っていただく必要がございます。天王寺駐在所脇あたりに避難所を設置することは難しいため、避難所は谷中小学校ということで、ご理解いただきたいと思えます。</p> <p>また、救援物資については、物資運搬等の事情もあるため、原則として「避難所での配布」を考えておりますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、谷中墓地は、一時的に身の安全を確保する避難場所となっておりますので、トイレ等の整備について東京都に強く要望してまいります。</p> <p>※令和3年1月、谷中墓地を管理する東京都東部公園緑地事務所に、災害時におけるトイレ等の整備について申し入れました。 (危機・災害対策課)</p>	<p>●</p>

◇非常時における帰宅困難者への対応について

質問	回答	対応
<p>数年前の大地震の際、ほとんどの交通網が停止し、この間、日暮里駅に足止めされた乗客が駅構内から谷中天王寺境内に誘導され騒ぎとなりました。幸い天王寺の住職の計らいにより事なきを得たのですが、再び起こることが予想されます。</p> <p>災害発生時、台東区、荒川区の避難場所として指定されている谷中墓地内の旧五重塔跡の公園周囲は、多数の避難者が集まると予想されます。その際、トイレの問題、犯罪防止、警備等が必要と考えます。区や都としての対応はどの様になるのか、お伺いしたいと思います。</p>	<p>区では、「東京都帰宅困難者対策条例」に基づき、区内の事業者等に対して、災害発生時に従業員等の一斉帰宅を抑制し、施設内に留まっただけよう周知を図っております。また、施設内に留まることができず、行き場のなくなった帰宅困難者を一時的に受け入れる「一時滞在施設」を開設いたします。</p> <p>一時滞在施設は、発災後、準備ができ次第、順次開設してまいります。帰宅困難者には、一時滞在施設が開設されるまでの間は上野公園や谷中墓地に避難していただき、開設され次第、一時滞在施設へ誘導する計画となっております。集客施設や鉄道事業者、警察と連携し、円滑な誘導を図ってまいります。</p> <p>トイレについては、鉄道事業者や集客施設、開設した一時滞在施設を利用していただくことを想定しています。</p> <p>また、避難場所のトイレの問題や犯罪防止、警備等について、東京都に申し入れます。</p> <p>※令和3年1月、谷中墓地を管理する東京都東部公園緑地事務所に、災害時におけるトイレ等の整備について申し入れました。また、災害時には、警察と連携し、避難場所の秩序保持に努めてまいります。（危機・災害対策課）</p>	<p>●</p>

《 金 杉 地 区 町 会 連 合 会 》

開催日：9月4日（金）

◇避難所の変更・要望について

質問	回答	対応
<p>現在、龍泉西部町会の避難所は柏葉中学校に指定されていますが、災害発生時に昭和通りを横断するには危険であり、特に高齢者は避難所までたどり着けないケースが多く発生してしまうことが懸念されます。</p> <p>町会内では近くにある旧竜泉中学校に避難したいとの意見が多数でているため、再検討いただけないでしょうか。</p> <p>もし難しい場合には、高齢者及び障害者の約250名だけでも旧竜泉中学校に避難させてもらえないでしょうか。</p> <p>また、防災倉庫が町内には足りず、災害時配布する備蓄品、資器材を用意することが困難ですので、倉庫を確保していただきたいと考えております。</p>	<p>現在区には、45カ所の避難所があります。各町会の避難所については、避難想定者数を基に、避難所となる施設の面積や距離、地区などを考慮に入れ、指定しております。本件のように、大きな通りを横断する場合や、距離が少し遠いというご意見をいただくこともございます。</p> <p>しかしながら、施設の面積や、避難される方々が入ることができない施設を指定することは難しいので、ご理解をいただきたくお願いいたします。</p> <p>また、区では毎年、自主防災組織の防災団に対し、資器材や装備品などの一部や防災訓練に要する経費の一部を一定の基準により助成しています。防災倉庫についても対象となりますので、ご検討いただければと思います。</p>	—

◇自転車の危険運転について

質問	回答	対応
<p>金杉地区に限らず、台東区全域に共通して、自転車がとても速いスピードで歩道を通り過ぎていくことが多くみられます。</p> <p>また、イヤホンで耳を塞ぎながらの運転や、携帯電話で会話をしながら運転している場面をよく見かけます。</p> <p>2018年に下谷で発生した自転車での死亡事故は記憶に新しいと思いますが、そのような危険運転を目にするたびに危機感を感じています。</p> <p>当時の事故以降も大きく改善が図られたようには感じられないため、過去の同じ過ちを繰り返させないためにも、自転車の危険運転について早急な対策・改善を要望させていただきたいです。</p> <p>併せて、下谷三丁目交差点は変形した交差点であり、朝や晩の時間帯は特に危険性が高く、解決に向けて早急な対応を強く要望します。</p>	<p>平成30年に自転車同士の接触で亡くなってしまった事故があり、その後も区内では自転車事故が発生している状況です。</p> <p>区では、自転車事故の防止に向け、区内の全警察署に対し、自転車利用者への注意指導の強化について申し入れを行い、7月に下谷警察署と合同で、自転車利用者向けの啓発活動を実施しました。</p> <p>今後も、各警察署との連携を図りながら、講習会の開催や様々な広報媒体の活用などにより、自転車利用者への啓発に取り組み、自転車の危険運転防止を図ってまいります。</p> <p>下谷三丁目交差点については、変則的な形状であり、安全対策が必要なことは認識しております。令和元年8月に下谷警察署と区で立会いを行い、現状を確認しました。ここは、国道と区道の交差点であり、警視庁から国と区へ交差点の一部改良の要請が出ています。再度、区からも国土交通省に申し入れを行うとともに、区道についても必要な対応を行ってまいります。</p> <p>※交差点の一部改良について、早期実施に向けて国と協議を進めています。（土木課）</p>	<p>●</p>

◇駐輪自転車の抜本的対策について

質問	回答	対応
<p>歩道・車道を問わず路上の駐輪自転車は、歩行者や車両の通行を妨げ、時には大きな事故に繋がる危険があります。</p> <p>区では、定期的に巡回や指導を行っていると思いますが、一時的に減った自転車がまた元の状態に戻ってしまいます。</p> <p>金杉上町町会の方からも「自宅前に停められてとても困っている」との相談を受けております。</p> <p>最近、マンションが急増しており、敷地内の駐輪場に停めきれない自転車が道路上に置かれていることが多く、今回の相談も同様のケースとなります。</p> <p>そこで、区は「路上駐輪自転車の取り締まり」のみではなく、一步踏み込み、集合住宅等の居住者への啓発活動を率先して行い、未然防止に努めるべきであると考えます。</p> <p>区長のお考えをお聞かせください。</p>	<p>区では、入谷駅周辺を「指導整理区域」に指定し、放置自転車指導員による指導、撤去を行っています。また、東京都や関係団体と合同で、毎年、「駅前放置自転車クリーンアップキャンペーン」を実施し、放置自転車の防止に向けた啓発活動に取り組んでいます。</p> <p>マンション前の自転車放置については、総戸数が10戸以上の共同住宅を計画する場合「台東区集合住宅の建築及び管理に関する条例」により、総戸数と同数以上の駐輪場を敷地内に設置することや、管理組合等を通じ、入居者に対し「周辺道路への駐輪禁止」について管理規約で定めるなどの指導を行っているところです。また、シェアサイクルの導入により放置自転車対策やマンション自転車駐輪場問題の解消を目指しています。</p> <p>入谷駅周辺は「指導整理区域」のため即日移送していますが、放置自転車を見かけた場合は、交通対策課にご連絡ください。</p> <p>今後も、放置自転車の削減に向け、指導や撤去のほか、区民等への啓発に取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇コロナ禍への検証について

質問	回答	対応
<p>今回のコロナ禍では、医療体制や産業構造の脆弱さが露呈されました。</p> <p>そこで、一度検証を行い今後の拡大防止・再発防止に万全を期していただきたいと考えております。例えば、医療・介護従事者に対するマスク・ガウン等の備蓄、従事者への抗体・PCR検査の優先の実施、手当等の充実、また区の「避難所運営マニュアル」の見直しも必要かと思われれます。</p>	<p>本区では「台東区中核病院運営支援協議会」において、地域医療の中核を担う永寿総合病院の運営支援について協議し、医療提供体制の早期回復と今後の体制強化に向けた支援を行っております。</p> <p>今後も、区民の皆さまが身近な地域で安心して適切な医療サービスが受けられるよう、地域医療の確保に全力で取り組みます。</p> <p>感染症防止対策のための衛生資材の備蓄費用など、様々な用途で活用していただくため、介護・障害福祉サービス等事業者に対し、1事業者あたり50万円の支援金交付等を行っております。医療従事者に対しては、区でマスク・ガウン等を一定数備蓄しておりますので、必要に応じて提供いたします。</p> <p>また、今後、避難所を開設する場合には、感染症対策を十分に行う必要があると考えています。そのため、今までの避難所運営マニュアルに加え、感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルを作成いたしました。避難所運営委員会の皆さまにも周知させていただいておりますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>区としても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため様々な対策を講じ、全力で取り組んでまいります。</p>	<p>○</p>

《 入 谷 地 区 町 会 連 合 会 》

開催日：9月7日（月）

◇入谷老人福祉館の跡地利用について

質問	回答	対応
<p>現在の入谷老人福祉館の利用状況と、入谷区民館完成後における入谷老人福祉館の運営計画をお聞かせください。</p> <p>また、旧入谷地区センターには小さな公園スペースがありましたが、新しい地区センターにはそのようなスペースは無くなっています。今後、入谷老人福祉館が閉館することになった場合は、地域や地区センター、区民館の利用者にとって憩いの場になるように、跡地を公園にしていだけないでしょうか。</p>	<p>入谷老人福祉館は、区内在住の60歳以上の方を対象とした施設であり、昨年度は、延べ約2万人の方にご利用いただきました。</p> <p>入谷老人福祉館は令和3年度末で閉館いたしますが、4年度以降は、入谷区民館の集会室等を活用し、新たな形で事業を実施いたします。</p> <p>閉館後については、既存の建物の活用も視野に検討しております。引き続き、立地特性や行政需要、事業の緊急性を考慮しながら、検討してまいります。</p>	☆

◇昭和通りへの中央分離帯の設置について

質問	回答	対応
<p>平成28年にも同じ質問をさせていただき、当時「昭和通りの横断については地域の方々や警察と協議しながら取り組んでいきます。」とご回答いただきましたが、中央分離帯等の設置には至っておりません。その後も昭和通りを横断する人は増えており、危険です。</p> <p>この件は、どのようになっているのでしょうか。</p>	<p>東京メトロ日比谷線入谷駅の上野方面行エレベーター付近での昭和通りの違法な横断対策については、平成28年に下谷警察署に申し入れをいたしました。警察と国道事務所が協議し、中央分離帯の設置が検討されましたが、中央分離帯への乗用車等の接触事故の発生が危惧されることなどから、設置は見送られたと聞いております。</p> <p>皆さまが安全安心に入谷駅をご利用いただけるよう、中央分離帯の設置について、改めて警察に申し入れをいたします。</p> <p>※令和2年9月、下谷警察に申し入れしたところ、中央分離帯への乗用車等の接触事故の発生が危惧されることから、現状では、中央分離帯の設置は難しいとの回答でした。 (計画調整課)</p>	●

◇オンライン授業について

質問	回答	対応
<p>コロナ感染を機にテレワークをはじめ、働き方も変化すると思われま</p> <p>す。</p> <p>小・中学生の授業もその変化に対応することが肝要であると思</p> <p>います。区</p> <p>の取り組みを教えてくださいたく質問いた</p> <p>します。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、台東区の小・中学校でも、令和2年3月3日から5月29日までの間、自宅学習としました。皆さまには、子供たちの自宅学習にご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>本来、学校での教育活動には、体験活動や話し合い活動のように「教師や子供同士の関わり合いが特に重要な内容」と、漢字や計算等の反復学習のように「個人でも実施可能な内容」の大きく二つの側面があります。</p> <p>その中で、「個人でも実施可能な内容」については、ICTを活用することで、学校以外の場でも学ぶことができるため、その環境整備が必要であると認識しております。</p> <p>本区での取り組みとしては、平成30年度より中学校1校、小学校2校をICTモデル校に指定し、ICT機器の効果的な活用について授業実践を進め、区内の学校にその成果を普及してまいりました。</p> <p>また、今年度中に、学校でも家庭でも活用できるタブレット端末等を一人に一台整備することを目標に、現在、準備を進めております。</p> <p>子供たちがICT環境の整った環境で学習を進めることができるよう、今後も充実した教育の推進に努めてまいります。</p>	<p>◇</p>

◇入谷地区における二つの大規模用地の活用について

質問	回答	対応
<p>台東区は平成31年3月に「世界に輝くひとまちたいとう」の実現を目指して、台東区都市計画マスタープランを策定しました。</p> <p>その中で根岸・入谷地区は「閑静で落ち着いた街」、「利便性が高く魅力的な都市環境を目指す」とあります。</p> <p>入谷地区には旧坂本小学校跡地と旧上野忍岡高校跡地があります。この二つの大規模用地をどのように活用するお考えかお伺いいたします。夢のあるプランを是非盛り込んでいただきたく、強く要望いたします。</p>	<p>平成31年3月に策定した「台東区都市計画マスタープラン」において、根岸・入谷地区まちづくり方針を掲げております。</p> <p>旧坂本小学校跡地については、「文化」、「スポーツ」、「防災」の三つの機能を中心とした施設を整備する方向で検討しております。都市計画マスタープランで位置付けた「コミュニティの核となる地域拠点の形成」というまちづくりの方針との整合性を図りながら、基本計画の策定に向けた検討を進めてまいりましたが、暫定活用も含め今後の進め方を再検討しております。</p> <p>旧上野忍岡高校跡地については、令和2年度から6年度にかけて、敷地西側を北上野保育室として活用いたします。また、令和3年度から5年度にかけて、敷地東側を松が谷福祉会館の改築工事中の仮施設として活用する予定でしたが、将来的な本格活用も視野に、検討を進めております。</p> <p>区内の大規模用地の活用については、立地条件や行政需要、事業の緊急性等を加味するとともに、地域の皆さまのご意見を伺いながら、積極的に検討を進めてまいります。</p>	<p>☆</p>

《 上 野 地 区 町 会 連 合 会 》

開催日：9月8日（火）

◇東西めぐりん停留所について

質問	回答	対応
<p>5月31日で水月ホテル鷗外荘が閉館になったのをキッカケに停留所を動物園旧通用門前に移し、名称を変更してはどうでしょうか。また、現在の停留所は交差点が近く、バスが停まると混雑がいつも発生しています。</p>	<p>鷗外荘は閉館となりましたが、森鷗外の旧居跡を多くの人に知ってもらうため、今後も「鷗外旧居跡」の名称を使用してまいります。</p> <p>また、停留所停車時に道路が混雑し、近隣の皆さまにご迷惑をおかけし、申し訳なく思っております。しかしながら、地先の状況や道路環境の観点から、現時点では停留所の移設は難しい状況ですので、利用者の安全性を確保している当該停留所を運用していきたいと考えております。</p> <p>今後も、安全安心で快適な「めぐりん」を目指してまいりますので、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。</p>	—

◇上野地下駐車場建設時に出た石について

質問	回答	対応
<p>建設時に出た石垣の一部のような大きな石を約200個、寛永寺で保管しています。古い時代の物なので、積み直して展示する等、遺構として残す考えはありますか。区が処分するにも費用はかかりまじ、展示等するならば場所を提供します。</p>	<p>保管いただいているのは、上野広小路三橋遺構の石と思われます。寛永寺様には、保管していただき、誠にありがとうございます。</p> <p>上野広小路三橋遺構は、地下駐車場工事地内における発掘調査により平成17年に発見された石組水路です。この石垣は、三橋が架けられていた水路の石組遺構として、台東区の有形文化財となっております。</p> <p>区としましても、本遺構は大変貴重なものであり、活用していきたいと考えております。石組みの展示方法や展示場所の確保等の課題もあるため、現時点で具体的な活用方法は定まっておりますが、文化財保護審議会の意見をいただきながら、どのように活用していくのか、引き続き検討してまいります。担当の生涯学習課から連絡させていただきます。</p> <p>※令和2年9月、会長へ連絡し、説明しました。（生涯学習課）</p>	☆

◇商店街の感染症対策と商業振興について

質問	回答	対応
<p>上野二丁目仲町通りは、いわゆる「夜の街」で接待を伴う飲食店が多数あります。区として、商店街の感染症対策と集客の減少をくい止める商業振興について、どのように考えていますか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、4月7日に緊急事態宣言が発令され、外出自粛や店舗休業等の対応がとられました。</p> <p>現在、緊急事態宣言は解除されておりますが、減少した客足を回復させるには、各店舗が「新しい日常」に対応した感染予防対策をしっかりと行い、お客様が安全で安心して利用できるようにしなければなりません。区では、「新しい日常」に取り組んでいることを示す「宣言書ステッカー」や「注意喚起ピクトグラムシール」を区内店舗に配布いたしました。さらに、商店街に対して、「新型コロナウイルス感染症緊急対策支援」として、物品等を購入できるよう補助制度を創設する等の支援を図っております。</p> <p>上野2丁目などの接待を伴う飲食店を対象に、夜間一斉監視を行い、多くの店舗で手指の消毒や検温などの感染防止対策が行われていることを確認いたしました。不十分な店舗に対しては、事業者向けの感染予防ガイドブックなどにより注意喚起を行いました。</p> <p>また、「客引き防止条例」の制定や、警察署と協力した悪質客引きに対する指導、町会・商店街の皆さまのパトロール活動等の効果もあり、客引きの人数が大幅に減少しております。</p> <p>今後も、皆さまの安全安心な生活を取り戻せるよう、感染症対策に取り組んでまいります。</p>	<p>○</p>

◇外部委託している業務について

質問	回答	対応
<p>区が外部委託している業務は多いと思いますが、その内容と区歳出全体に占める割合を教えてください。</p> <p>また、10年前と比べて、増えた分野と減った分野の今後の方針についてお聞かせください。</p>	<p>平成30年度の歳出決算額は約988億円、委託料は約160億円で、決算額に占める委託料の割合は16.2%となっております。</p> <p>10年前の平成21年度では、歳出決算額は約916億円、委託料は約93億円、委託料の割合は10.2%となっております。</p> <p>歳出決算額に占める委託料の割合は、平成30年度は21年度よりも6ポイント増えております。また、多くの分野において、委託料の割合は増加している状況です。</p> <p>区はこれまで、各事業の目的を達成するために、民間委託による効果や効率性、行政が直接行なうべきか等を検討したうえで、業務委託を活用してきたところです。</p> <p>今後も、多様な区民ニーズに応えるため、民間企業が有する知見及び人的・物的資源の活用を一層推進し、区政運営に努めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇「駅ピアノ」の設置について

質問	回答	対応
<p>「駅ピアノ」という番組が放映されており、大変評判がよく、新聞の投書欄でも取り上げられていました。多くの人々に喜びや勇気、そして癒しを与える事になると思います。</p> <p>上野には訪れる人も多く、台東区には東京藝術大学もありますので、上野駅に「駅ピアノ」の設置をご検討いただけないでしょうか。</p>	<p>駅や街角から流れるピアノの音は、人々の心を癒すものと思います。</p> <p>上野は、東京藝術大学や上野学園などの音楽の教育機関や旧東京音楽学校奏楽堂、東京文化会館などの音楽ホールがあり、音楽を身近に感じられる地域でもあります。</p> <p>しかし、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されるため、不特定多数の方が自由に演奏できる「駅ピアノ」や「街角ピアノ」などの多くは、利用できない状況にあると聞いております。そのため、上野駅への「駅ピアノ」の設置は、現状では大変難しいと思われれます。</p> <p>区といたしましては、旧東京音楽学校奏楽堂で開催している日曜コンサート等、気軽に音楽に触れられる演奏会などの機会を提供できるよう努めてまいります。</p>	<p>△</p>

《 清 川 地 区 町 会 連 合 会 》

開催日：9月9日（水）

◇防災訓練の実施方法について

質問	回答	対応
<p>毎年のように、地震による災害や台風等による河川の氾濫による災害が全国各地で起こっています。防災訓練や避難訓練の重要性はますます高まっていると考えます。町会においても防災訓練等を実施するなど災害対策を行ってまいりました。</p> <p>しかし、コロナ禍の今、町会として防災訓練等を実施するか否かを含めて方法を模索しています。区のお考えをお尋ねします。</p>	<p>北海道での地震や台風による千葉県での被害、九州での大雨等、昨今、全国各地で様々な災害が発生している状況から、防災訓練の重要性は高まっていると考えております。しかし、大勢の方が集まる防災訓練は、感染症の感染リスクが伴うため、現段階では原則実施を見合わせていただいております。</p> <p>防災訓練は生命、財産に関わることでもあるため、訓練の必要性が高く、実施する場合には、「密閉・密集・密接」の3密を避ける内容をご検討いただきたいと思います。訓練を実施する場合には、危機・災害対策課へご相談ください。</p> <p>区といたしましても、感染症への対応を踏まえ、災害対策に努めてまいります。</p>	—

◇玉姫公園の状況について

質問	回答	対応
<p>一昨年前にも質問させていただきました、玉姫公園を占有する路上生活者についてです。</p> <p>当初3名の路上生活者が家財道具等を持ち込み、玉姫公園を占有し生活していました。「区長と語る会」での質問の後、区の粘り強い対話により、1名にまで減ったと伺っております。これまでの区のご努力に感謝を申し上げます。</p> <p>しかし、まだ特定の人々が占有しており、玉姫公園が近隣住民の憩いの場所と呼ぶのには、ほど遠いように思えます。現在の玉姫公園の状況と、今後の区の対応策についてお聞かせください。</p>	<p>区では、公園周辺住民の皆さまに影響を及ぼさないよう、路上生活者との対話による解決を基本としております。特別清掃や職員・委託業者による巡回指導等を実施し、新規流入者の防止とともに、公園の不適切利用の減少に向けて取り組んでおります。改善後は、夜間閉鎖型の公園に再整備する予定です。</p> <p>また、平成28年度から玉姫公園を含む区北部地区においては、昼間に加え夜間にも、医師・看護師の同行による路上生活者巡回相談を行っております。この結果、令和元年度は北部地区全体で8名の方が相談後に生活保護を受給し、路上生活から地域へと生活の場を変えることができました。</p> <p>より多くの方が路上生活から脱却できるよう、引き続き粘り強く取り組んでまいります。</p>	○

◇町会への経済支援について

質問	回答	対応
<p>現在、新型コロナウイルス感染症が終息する兆しが見えない状況が続いており、町会としても一日も早く終息することを願っております。そのような中、広報「たいとう」の配布委託や区政情報の周知委託の中止による町会収入の減、また町会によっては、感染症拡大防止のため、各町会会員へのマスクの配布、さらには各家庭の負担を軽減するために、町会費を減免するなど様々な取り組みを行っています。このような町会に対する助成金や区内199町会への定額給付金などの支援はできないでしょうか。</p> <p>企業や個人に経済支援策があるように、町会に対しても何らかの支援策があっても良いと思いますがいかがでしょうか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、各町会において、通常の活動が行えないなどのご苦労があるかと思えます。また、マスクの配布や町会費の減免などの取り組みを実施している町会があることも存じております。</p> <p>区では、緊急事態宣言以降、区民の皆さまの生命と健康を守るため感染防止に努め、その一環で「広報たいとう」の配布委託や区政情報周知委託も一時中止したところでした。</p> <p>町会等運営補助金については例年通り交付を行ったところであり、町会への追加の支援については難しいと考えております。</p>	△

◇コロナ禍における避難所の対応について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが不透明な状況の中、災害時に多くの方が避難する避難所においても「密」による感染が懸念されます。感染予防の対応が必要になると思います。</p> <p>そこで、マスクやフェイスガード、アルコール等の除菌剤、体温計をはじめ、1家族が1区画を利用できる、段ボールパーティションや段ボールベッドなどを配置し、新型コロナウイルス感染症にも対応できるようにすべきと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>避難所を開設する場合には、感染症対策を十分に行う必要があると考えております。区では、今までの避難所運営マニュアルに加え、感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルを作成し、各施設管理者や避難所運営委員会の方々等に周知しております。</p> <p>また、感染症対策の物品については、マスクやフェイスガード、アルコール等の除菌剤、体温計等の備蓄を順次進めております。パーティションと畳についても、民間団体と協定を結んでいるため、発災時に各避難所へ配備いたします。</p> <p>今後も、感染症の影響も考慮し、災害対策に努めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇ふるさと納税の導入について

質問	回答	対応
<p>ふるさと納税制度は、生まれ故郷や応援したい自治体に寄付ができ、地域の名産品などのお礼をいただける魅力的な仕組みだと思えます。お隣の墨田区では、地元の靴事業所や江戸切子など、地場産品をお礼としてふるさと納税を導入しています。</p> <p>台東区にも上野動物園や博物館をはじめとする魅力的な観光資源や靴産業などの地場産業があります。コロナ禍に苦しむ産業の支援にもなり同様に導入すべきと思えますが、区長のふるさと納税制度に対する基本的なお考えをお聞かせください。</p>	<p>墨田区をはじめ、多くの自治体では、ふるさと納税の受入額を増やすため、様々な返礼品を用意していることは認識しています。</p> <p>しかし、自治体間の返礼品競争が過熱したことを受けて、国は制度の見直しを行いました。</p> <p>また、返礼品を付けた寄附には、一定の経費負担が発生することが想定されます。</p> <p>こうした状況を踏まえ、台東区では、ふるさと納税の返礼品について、文化や産業、観光など本区の魅力の活用といった視点を含め、研究してまいります。</p>	<p>△</p>

《 浅草橋地区町会連合会 》

開催日：10月2日（金）

◇新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい経済活動への支援について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令され、自粛要請により人々の行動範囲が狭まり、商店街では来客がなく経済活動が麻痺しています。緊急事態宣言は解除されたものの、ここに来て第2波の感染者が増幅し、特に飲食店・カラオケ等のお店は再び営業時間の短縮などの要請を強いられ、苦戦している状況です。台東区独自の支援策はあるのでしょうか。</p>	<p>5月に緊急事態宣言は解除されましたが、飲食店やカラオケ等への時短営業要請により、来街者は減少しています。この時短営業要請も9月15日に終了しましたが、減少した来街者を増やし、消費拡大につなげていくために、本区が「安全で安心なまち」であることをアピールする「新しい日常取組店舗応援事業」を進めております。</p> <p>そして、新しい日常に取り組んでいることを掲示する「宣言書ステッカー」の配布や、区の産業情報誌「ネットワークたいとう」に店舗情報を掲載するなど、安全・安心に取り組む店であることを紹介しております。</p> <p>また、10月から店舗の責任者に対し、店舗での感染予防策を効果的に実施していただくため、感染予防の知識や実技を学べるセミナーを開催します。</p> <p>さらに、飲食店の組合等から推薦された方に感染予防の講習を受講していただき、受講後には「新しい日常取組推進員」に認定し、推進員が行う周知・啓発等の活動に係る経費を補助することで、感染症予防策の普及をより一層促進してまいります。</p> <p>今後も、区民の皆さまの暮らしを支えるために、全力を挙げて取り組んでまいります。</p>	○

◇風水害時の対応について

質問	回答	対応
<p>近年、想像を絶する自然災害が多発しており、秋にかけて大型台風が発生し、万が一荒川・隅田川・神田川が決壊するようなことがあれば、台東区もかなりの洪水に襲われることとなります。</p> <p>コロナが蔓延する最中に風水害が発生した場合、避難場所として指定されている台東育英小学校に避難することになりますが、3密の状況は避けられないのではないかと心配です。台東区として3密にならない工夫、あるいは分散施設を確保する対策などは予定しているのでしょうか。</p>	<p>浅草橋地区では、荒川と神田川の氾濫が想定されております。隅田川については、荒川から隅田川に分岐する場所にある岩淵水門を閉鎖するため、氾濫することは想定されておりません。</p> <p>荒川が氾濫した場合は、浸水が3～5mとなり、2週間以上継続することが想定されます。2階以上にお住まいの方でも孤立する恐れがあるため、区が避難情報を発令した場合には、直ちに、上野公園や谷中墓地などの浸水区域外への避難をお願いいたします。</p> <p>神田川が氾濫した場合は、浸水が1m未満と想定されているため、2階以上にお住まいの方は、ご自宅にとどまっていたきたいと思います。避難場所での「3密」を避けるため、自宅での安全が確保できれば、「在宅避難」をお願いしております。</p> <p>また、避難場所を区内に16か所開設し、浅草橋地区には、台東育英小学校と浅草中学校の2か所を開設いたしますので、分散して避難していただけます。</p> <p>今後も防災施策を着実に推進し、区民の防災力の向上を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇地域住民とのコミュニケーションを深めるために

質問	回答	対応
<p>柳橋町会は、令和2年4月1日現在で1,783世帯ですが、令和3年にはマンションが248戸増え、計2,031戸となり、実に全世帯数の85%がマンション世帯となります。</p> <p>町会運営は、地域住民の連帯感をはぐくみ、地域の福祉・環境・防災・防犯などのさまざまな課題に取り組んでおりますが、マンション世帯とのコミュニケーションを深めることに苦慮しております。そのためには、高齢者の談話室、PTAと子供対象のイベント開催、防災団の研修、若返り体操会、町会内班長会議、永寿総合病院柳橋分院との健康セミナー等の集会を行える場所が必要だと感じております。</p> <p>現在、有料の場所を借りて実施しているものもありますが、JR総武線ガード下を借り上げるなど、区でもぜひ「地域住民が集える場の提供」を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>集合住宅居住者の町会加入が進まないことについては、区でも課題であると認識しております。集合住宅居住者が町会に加入し、活動に参加することで、さらに地域の活性化が進むと思います。</p> <p>そこで、区では町会加入リーフレットの配布や、建築事業者に対して「集合住宅の建築及び管理に関する条例」において、町会加入について町会と事前に協議するよう指導するなど、加入促進に努めております。また、現在、町会と集合住宅居住者との関りを作るきっかけづくりを検討しているところです。</p> <p>地域住民が集える場所については、区民館等、既存の施設をご利用いただければと思います。</p> <p>今後も、地域の要望に添ったまちづくりを行っていく必要があると思いますので、区民や事業者等が主体となるまちづくりを推進してまいります。</p>	△

◇浅草橋駅周辺まちづくりについて

質問	回答	対応
<p>浅草橋駅周辺まちづくりについては、平成18年台東区都市計画マスタープランにより方向性が示されましたが、実際には旧福井中の跡地活用を念頭においた局地的なプランであり、15年経過した現在、残念ながら浅草橋ヒューリック以外に目立った開発が進んでいると思えません。</p> <p>一方、その間の街の変貌は問屋業の衰退に伴い、事業撤退が相次ぎ、商店の多くはビルテナントに業態代えし、テナントとして多くの飲食店・居酒屋が入居する典型的な駅裏化が進んでいます。</p> <p>このような街の変貌は地域住民にとって決して望ましい状況ではありません。確りとした長期的政策不在のまま今後この地域の開発が遅れることは、今後JR浅草橋駅周辺の開発をより難しくする原因となる恐れがあります。また区の南の入口に位置するこの地域の開発の遅れは、区全体のイメージ低下に繋がるものと危惧しております。</p> <p>現在「浅草橋まちづくりプロジェクト」の動きがあると聞きましたが、地元町会としてそこに至るまでの経緯を知らず、区との情報共有が図れているとは言い難い状況です。</p> <p>区として、浅草橋駅を中心とする周辺地域を20年後にどのように開発していくのかといった地域開発の方向性・プランを検討しているのでしょうか。</p> <p>また、委員会で本年度以降、地元住人との勉強会を開催し、まちづくりを検討するための地元組織「まちづくり協議会」を立ち上げるとの発言がありましたが、今後の予定についてお聞かせ願いたいと思います。</p>	<p>浅草橋駅周辺における、問屋業者の減少などに伴うまちの変遷については、区としても認識しております。概ね20年後の将来像を描いた「台東区都市計画マスタープラン」においても、浅草橋・柳橋地区を拠点性の向上やまちづくりの課題解決の必要性が高い「まちづくり推進重点地区」として位置付けております。</p> <p>また、平成30年度から令和元年度に、当地域のまちづくり基礎調査、アンケート、ヒアリング調査などを実施し、区が考えるまちの課題と方向性（案）を整理いたしました。</p> <p>今後、さらに地元のニーズに即したまちづくりを展開していく必要があることから、今年度中に調査結果を共有し、令和3年度以降に、まちづくりの勉強会等を通じて、地域の皆さまのまちづくりに対する機運を図り、まちづくり協議会の設立を目指してまいります。</p>	<p>☆</p>

《 浅草寿地区町会連合会 》

開催日：11月6日（金）

◇東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて

質問	回答	対応
<p>2021年夏に延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会ですが、新型コロナウイルス感染症が収束し、盛大に開催される事を心から願っています。</p> <p>そして、パラリンピックでは、わが浅草寿地区にあります江戸通りが、マラソンコースの一部となっているので、その町並みなどが、各国で放映されるチャンスだと大いに期待しています。</p> <p>コロナ禍で、今後区は財政的に厳しい状況となるとは思いますが、ハード面・ソフト面で、どのように盛り上げていかれるのかをお伺いしたいと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症を取り巻く環境は、依然として厳しい状況ですが、令和3年に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催時には、多くの来街者が訪れることが予想されます。パラリンピックマラソン競技では、江戸通りがコースの一部となっており、通過時に台東区の映像が世界中に流れることは、本当に素晴らしいことであり、本区の魅力を世界に向けて発信する、またとないチャンスです。</p> <p>区では、これまで大会啓発品の配布や障害者スポーツの普及啓発、微細ミストの設置による暑さ対策、花の心で来街者をもてなす「おもてなしの庭」など、ハード面・ソフト面の両面から大会機運の醸成を図ってまいりました。今後も引き続き、大会の開催に向け、花の心によるおもてなし事業や聖火リレー事業を進めていくとともに、大会組織委員会や東京都と連携して、来街者の受入体制の整備を進めてまいります。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会という絶好の機会を、区民の皆さまと盛り上げ、安全安心に大会開催を迎えられるよう、新型コロナウイルス感染症対策も含めた様々な取り組みを進めてまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。</p>	<p>—</p>

◇防災行政無線を有効に使うために

質問	回答	対応
<p>昨年来、台風及び大雨による風水害が多発しており、防災行政無線を聞く回数も増えています。</p> <p>近年は、マンションの乱立により、今まで聞こえていた無線が聞こえなくなってしまう、区から町会に配付された2台の防災ラジオも、常にスイッチを入れ、聞いていることは難しく、肝心な時に聞きそびれてしまう事が多々あります。</p> <p>そこで、あらためて調査をしていただき、多くの区民が聞き取りやすい状態に改善していただくことを希望します。</p>	<p>ご指摘のとおり、防災行政無線による放送は、気象状況や建物状況、住環境等により聞き取りにくいことが課題となっております。これまでも聞き取りやすい放送を目指し調整してまいりましたが、今後も放送音量やスピーカーの方向の調整等、改善に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、平成30年度から3年間かけて、固定系防災行政無線のデジタル化整備工事を行っており、令和2年度末に工事が完了する予定です。区内各所にあるスピーカーの取り替えや新設、設置個所の変更を行いますので、聞こえ方が改善されると考えております。工事完了後には、再度聞こえ方について検証や検討も行いたいと考えております。</p> <p>なお、災害時に区が発信する最新情報の確認等ができる防災アプリ「台東防災」を設けております。このアプリで放送内容を確認することができますので、ぜひご登録ください。また、区公式ホームページや「自動電話応答サービス」、「たいとう防災気象情報メール」でも放送内容を確認することができますので、ご活用いただければと思います。</p>	<p>○</p>

◇町会内の情報把握について

質問	回答	対応
<p>個人情報の関係で、事件・事故・急病人・災害発生時等の際に、町会内に住んでいる方の情報が把握できていないことから、円滑な活動ができずに難儀しています。また、新入学生へのお祝いや敬老の日のお祝金等を計画しても、回覧板で周知し、申告いただくしか方法がありません。マンションは大概がオートロックで入れず、情報が得られません。このため、高齢者に限らず一人暮らしの方の災害時の対応については、町会として避難行動要支援者名簿登載の方以外は安否確認をすることが難しくなっています。浅草下町の心意気を町の方に知っていただきたく、安心・安全の町をつくろうと、町会で一丸となっています。</p> <p>区として、町会がもっと活動しやすくなるよう、情報提供をしていただける制度を構築いただけないでしょうか。</p>	<p>高齢者の見守りや子供たち向けの行事等を通じて、町会の活性化や安全安心の地域づくりのために、地域住民の方と交流を深めていくことは大切であると考えます。また、災害時における地域住民同士での共助などにも大いに役立つものであります。</p> <p>しかしながら、個人情報に関することについては、区から町会へ提供することができません。区としては、町会活動に多くの方が参加し、さらには町会運営にも関わる方が増え、多くの住民が交流できるような施策を検討してまいります。</p>	<p>△</p>

◇買物券の配付をして購買促進につなげては

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、観光地としての収入が減少してしまった事や、永寿総合病院でクラスターが発生し、病院の運営が厳しくなった事への対応等のため、区は支援金や補助金等、多額の支出をされています。</p> <p>区民についても、一家庭あたりの収入が激減しています。他区では、国の特別定額給付金とは別に、独自の給付金を支給していると聞きます。本区でも、区内店舗で使用できる買物券を世帯ごとに3～5万円程度配付し、少しでも購買促進につながるようにしてはどうでしょうか。</p>	<p>区では、収入が減少してしまった方や離職等で生活にお困りの方に対し、貸付や手当金等の様々な支援を行っております。</p> <p>また、国の特別定額給付金の対象外であった、お母さんのおなかにいた赤ちゃんについても、影響を受けた家族の一員と捉え、令和2年4月27日に妊娠されていた方に対し、胎児一人につき10万円の妊婦等応援特別給付金を、区独自で支給することとしました。</p> <p>ご提案の買物券の配布については、買物券の取扱店のご協力が欠かせません。過去に商品券を販売した際、取扱店から「消費者が一概に所に集中し、期待ほどの購入はなかった」、「現金化の手続きに時間がかかる」等のご意見をいただきました。こうした課題もあり、買物券事業の実施は難しいと考えておりますが、地域経済の活性化のために、必要な消費喚起策を引き続き検討してまいります。</p> <p>※商店街が共同して実施する売出し事業に対し、支援を行う準備を進めています。 (産業振興課)</p>	<p>☆</p>

◇芸術・文化・スポーツ活動の隆盛のために

質問	回答	対応
<p>全世界でパンデミックを起こした新型コロナウイルス感染症の蔓延は、病態の複雑さばかりではなく、社会、経済、文化などにも大きな影響を与えています。</p> <p>区民が続けてきた様々な活動は殆どが止まったままであるだけでなく、心の躍動や安寧が得られない状態が続いています。これは看過すべきではないと思います。今、まさに経済の再建だけでなく、落ち込んでいる区民の心を奮い立たせる事が必要です。</p> <p>近い将来、収束に向かうとは思いますが、区長には、区民の文化・芸術・スポーツ活動を応援するための旗を大きく振っていただきたいです。</p> <p>来年行われる東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるためにも、今まで以上に規模を拡大し、充実させ、魅力ある内容の文化・芸術・スポーツ大会を企画・開催いただく事を強く希望いたします。</p>	<p>文化・芸術やスポーツは、人々の心に潤いや感動を与えるかけがえのないものであると認識しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が延期となり、各種イベントが中止となるなど、以前と同じように享受できる機会が失われてしまうことは、残念に思います。</p> <p>区では、緊急事態宣言が発令され、外出自粛により自宅で過ごす時間が多くなる中、少しでも潤いのある時間を過ごしていただきたいと、東京藝術大学の学長にお願いして、「東京藝術大学特別コンサート」をYouTube台東区公式チャンネルで配信させていただきました。</p> <p>また、オリンピック・パラリンピック教育を推進するために、小学生を対象としたボッチャ交流大会の開催等を予定しております。</p> <p>今後、感染状況がどのような経過をたどり、また、経済状況や区の財政状況がどう推移していくのか、先が見えない状況です。</p> <p>現在は、感染症防止対策が可能なイベントから、順次再開しているところですが、区民の皆さまが安心して文化・芸術やスポーツに触れ、またその活動に積極的に取り組むことができるよう努めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇地域のさらなる安全・安心の確保のために

質問	回答	対応
<p>ここ数か月の間で、登下校途中の小学生の前に不審者が現れる事例が何件もありました。</p> <p>これらの事例があると、小学校から保護者に注意喚起の連絡はありますが、町会には直接の連絡はありません。</p> <p>町会としては、地域の安全・安心を日々目指しています。不審者情報があれば、登下校の時間帯に自主的に巡回するなど、大切な子ども達を守りたいと思っています。</p> <p>区の「たいとう安全・安心電子飛脚便」で情報を得られる事は知っていますが、スマートフォンやパソコンを使用していない町会長・町会会員が多い中、その情報を入手する事は困難です。学校や警察、区から情報をいただけたらと思います。</p> <p>そして、子ども達の安全確保のため、登下校の時間帯に青パトの巡回の回数を増やす、巡回時間を延長する、事件等が起きた現場周辺は暫くの間手厚くするなどの対応を要望します。また、青パトは、広めの通りを素早く通り過ぎていように見受けられます。巡回中はスピードを落とし、ゆっくりと周囲を見渡しながら監視を行っていただきたいです。</p>	<p>「たいとう安全・安心電子飛脚便」は、警視庁から配信される「メールけいしちょう」を基に配信しております。メール配信は、多くの方に、同時に、瞬時に送ることができるため、安全で安心な生活につながる情報をタイムリーに提供できる手段と考えております。スマートフォンやパソコンだけでなく、スマートフォン以外の携帯電話でも受信することができますので、これらの機器を使用することができる方を中心とした連絡網を作成していただくなど、ご対応いただければ幸いに存じます。</p> <p>子どもの安全パトロールは、保育園や学校、公園など253か所を4台の青パトで1日2回巡回しております。登下校の時間帯には、保育園や学校を中心に巡回や立哨し、不審者等の事案の有無について園や学校と情報共有するなど、事件等が発生した場合には、巡回の時間や回数を調整し、その地域の重点的な巡回も行っております。</p> <p>巡回の時間や青パトの走行スピードなどについては、地域の皆さまや警察等からのご意見を参考に工夫してまいります。</p>	<p>—</p>

《 東 上 野 地 区 町 会 連 合 会 》

開催日：12月4日（金）

◇資源回収ボックスの設置場所変更のお願いと水はけの悪い歩道の歩行者に及ぼす危険について

質問	回答	対応
<p>ペットボトル等の資源回収ボックスが置かれていることで、回収されない物まで置いていく人がおり、大きなゴミが放置され困っています。回収ボックスの置き場所はどのような基準で決められているのか、また、置き場所を変えていただくにはどうすれば良いでしょうか。</p> <p>また、以前もお話ししましたが、東上野1・2丁目の間の一方通行の歩道は、水はけが非常に悪い所があり、雨の日には浸水してしまい、歩行者が歩くことが出来ず車道に出て歩くしかないと、大変危険です。善処いただきたく、よろしくお願いいたします。</p>	<p>資源集積所の移動のご提案をいただきましたが、多くの方がこの集積所を利用していることもあり、すぐに場所の移動をすることは難しい状況です。新たにごみが投棄されないよう、引き続き台東清掃事務所による巡回を行うとともに、担当の清掃リサイクル課から会長へ相談させていただき、改善に取り組んでまいります。</p> <p>また、以前お話いただいた歩道の補修は済んでおりますが、水はけの悪い箇所については、確認し対応いたします。</p> <p>担当の土木課から会長に連絡いたします。</p> <p>※現場を確認し、今後の対応について会長へ説明した後、資源回収ボックスに、多言語による注意書きを掲示しました。（清掃リサイクル課）</p> <p>※道路整備から約10年が経過し、車の乗り入れ箇所等の歩道ブロックが不陸となっております。水はけの悪い箇所が広範囲に及ぶため、時間を要するが、順次補修をしていく旨を会長に説明しました。（土木課）</p>	○

◇台東区役所発行の封筒・書類等に記載されている電話番号の
市外局番の表示のあり方について

質問	回答	対応
<p>台東区役所が発行する封筒の表面に記載の電話番号は、「(03)5246-1111(代)」となっています。「広報たいとう」の表紙には「TEL5246-1111(代表)」と表示されていて、(03)の記載はありません。それはNTTタウンページ(株)発行の職業別タウンページ台東区版に「市外局番は(03)です」と表記されているからでしょうか。</p> <p>何故、各部署が発行する書類によって(03)が記載されているものと、記載されていないものがあるのでしょうか。</p>	<p>区が書類等を送付する際には、主に「台東区」と記載された茶色の庁用封筒を使用しております。多くは、台東区内にお住まいの方へお送りする際に使用しておりますが、転出等により都外へお住まいになられている方ともやり取りをすることがあるため、市外局番の(03)を記載しております。また、保険料や税等の関係で個別に専用封筒を作成していることもございますが、同様の理由で、その多くに市外局番が記載されております。</p> <p>一方、「広報たいとう」については、限られた紙面スペースの中で、様々な情報を掲載する必要があることと、配布の対象が区民となりますので、市外局番の記載は省略しておりますが、より多くの方にわかりやすい広報紙とするため、今後、表紙には市外局番の(03)を記載してまいります。</p> <p>今後も、各媒体の利用用途等を鑑み、利便性の向上につながるよう努めてまいりますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>	<p>—</p>

◇東上野地区避難所(仮)建設のお願いについて

質問	回答	対応
<p>区では、上野警察署の移転を想定した旧下谷小街区の活用について、警視庁と協議を進めていると聞いています。</p> <p>今後、4町会(稲神・神吉・四丁目本・宮元)の避難所は、他の場所に移設する方向で検討していると伺っておりますが、避難する人数に対し、かなり厳しい環境が想像されます。</p> <p>ぜひ、移転協議を進めている上野警察署を含むエントランス街区に、東上野地区の避難所を建設してください。</p>	<p>昭和通りと浅草通りの交差点に面し、上野警察署やキンコース等を含むエントランス街区については、「東上野四・五丁目地区地区計画」の方針である「多様な機能が集積した、賑わいと交流が育まれる複合的な開発の誘導や防災機能の整備」に基づいたまちづくりを進めております。</p> <p>今後、旧下谷小跡地街区において、公共公益施設の再編に向け、現在の旧下谷小にある避難所機能は他の場所に移っていただく必要がございます。</p> <p>区では、将来的に地区計画内の東上野4丁目区域で、避難等の機能確保を図ることとしております。引き続き、この方針の実現に向けて、まちづくりに取り組んでまいります。</p> <p>内容やスケジュールが決まり次第、ご報告させていただきますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。</p>	<p>—</p>

◇道路上での喫煙と喫煙者の密、人と車の通行妨害について

質問	回答	対応
<p>東上野5丁目の道路上に於いて、タバコの匂いと煙に大変迷惑しています。また、人と車等通行にも支障が出ています。だんだんとひどくなっていますので、近隣から何か対策をして欲しいと多くの要望が町会に寄せられています。何か対策ができないでしょうか。</p> <p>この場所は、以前タバコを販売していましたが、現在は飲み物の自動販売機が置いてあります。</p>	<p>令和2年4月に改正健康増進法が全面施行となるなど、原則、施設等における屋内での喫煙が禁止となりました。その影響もあり、路上など屋外での喫煙が増えています。</p> <p>区では、公衆喫煙所の整備や喫煙者へのマナー指導など、迷惑喫煙対策を強化しております。ご指摘の場所では、これまでも広がった喫煙をしないこと、近くの公衆喫煙所への誘導等といった指導をしてきましたが、引き続き、マナー指導を強化してまいります。</p> <p>加えて、「東京都台東区ポイ捨て行為の防止に関する条例」を改正し、令和3年4月より、朝7時から9時までの2時間を路上禁煙とする予定です。</p> <p>ご指摘の場所の灰皿は、私有地に設置されているため、法令の規制対象ではありません。ただし、管理者には、周囲に受動喫煙が生じることのないよう配慮することが求められており、現在は、貼り紙の掲示等の対応を取っていただいております。今後の対応については、灰皿の撤去も含めてご検討いただけるよう、再度相談してまいります。</p> <p>今後も、引き続き、喫煙する人もしない人も共存できる環境づくりに努めてまいります。</p> <p>※令和3年1月に現場を訪問し、設置者に周囲への配慮義務を説明するとともに、灰皿の撤去について検討を依頼しました。 (生活衛生課)</p>	<p>○</p>

《 馬 道 地 区 町 会 連 合 会 》

開催日：12月4日（金）

◇風水害時の避難行動及び避難場所について

質問	回答	対応
<p>今年の夏も九州地方や岐阜県、長野県などで大雨による河川の氾濫等、大規模な災害が発生しました。昨年、台東区でも台風19号による大雨の際に自主避難場所を開設しましたが、路上生活者の人たちの避難など課題やご苦勞もあったと聞いております。</p> <p>また、新型コロナウイルス対策のため、避難場所には、これまでより広いスペースが必要ですが、このような状況を考慮し、風水害時の避難行動及び避難場所のあり方について、区としてのお考えをお聞かせください。</p>	<p>近年、全国各地で様々な自然災害が発生しており、甚大な被害をもたらしております。</p> <p>台東区では、荒川氾濫、神田川氾濫、土砂災害、内水氾濫の起こる可能性があります。</p> <p>内水氾濫や神田川が氾濫した場合は、多くの地域で浸水が1 m未満と想定されているため、2階以上にお住まいの方は、ご自宅にとどまっていたいただきたいと思います。避難場所での「3密」を避けるため、自宅での安全が確保できれば、「在宅避難」をお願いしております。</p> <p>荒川が氾濫した場合は、区内の大半の地域が長期間水没し、孤立することが想定されております。2階以上にお住まいの方でも区が避難情報を発令した場合には、直ちに、上野公園や谷中墓地などの浸水区域外への避難をお願いいたします。</p> <p>風水害時の避難場所は、区が必要と判断した際に、開設し運営いたします。まず、自主避難場所を6か所開設し、浸水の可能性が高くなった場合に、追加で10か所開設いたします。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、ソーシャルディスタンスを確保しやすい体育館等を避難スペースとしており、感染者や感染疑いのある方等には、別の部屋を設ける等の対応を取る予定です。感染症への対策を十分に行い、災害対策に努めてまいります。</p>	—

◇新型コロナウイルス感染症対策について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルスの検査体制についてお尋ねします。</p> <p>当初は、発熱などの症状があっても、なかなか検査を受けられない方が多くいらしたようですが、最近では検査件数も増えているようです。</p> <p>現在、区内の検査体制はどのようになっているかお聞きします。また、希望する区民全員が検査を受けられるようにしてはいかがでしょうか。区としてのお考えをお聞かせください。</p>	<p>台東区では、令和2年4月に区内に検査会場を設け、検体採取を開始しました。検査対象は、医師が必要と判断した方、及び、濃厚接触者と特定された方となります。</p> <p>現在は医師会の協力により、検査を行う医療機関も増えているため、必要と判断された時から、数日以内に検査を受けることが可能な状況です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に加え、これからの時期はインフルエンザの流行も予想されています。そのため、発熱などの症状がある場合は、まずは、かかりつけ医にご相談ください。かかりつけ医がない場合等には、区と区内医師会等が連携した「発熱受診相談センター」にご連絡ください。発熱していても診察が可能な医療機関を紹介いたします。</p> <p>区民の皆さまが安全で安心した生活を送ることが出来るよう、そして、必要な方が適切に検査を受けられるよう、引き続き、受診・検査体制の充実・強化等を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇新型コロナウイルス流行の中での区内経済の活性化について

質問	回答	対応
<p>今年、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、隅田川花火大会や浅草サンバカーニバルなど、多くの区内行事が中止となりました。</p> <p>馬道地区でも一葉桜まつりや芸能大会、町会の盆踊りなどが中止となり、大変寂しい限りです。</p> <p>また、観光客の減少により、地元の飲食店をはじめ、多くのお店が深刻な打撃を受けています。</p> <p>そこで、新型コロナウイルスの中で、区として経済を活性化するための取り組みがあればお聞かせください。</p>	<p>観光客の中には、感染状況の高止まりを警戒し、東京への来訪を控えている方も多いと思われます。都内の感染者数がゼロにならない中で、地域経済活動を止めないためには、感染拡大防止の取り組みとの両立が不可欠であると考えます。</p> <p>このような状況の中、区ではInstagramやTwitterを活用し、区内観光事業者のコロナへの取り組みや、安全をアピールしつつ、事業者のアカウントの存在を広く伝える目的で「#たいとう愛」を開始いたしました。さらに、講習会などを通じて、区内施設・事業者の感染対策を支援し、安全な観光ができる環境を整えると共に、観光客の来訪を促すため、民間事業者などと連携したプロモーションも実施しております。</p> <p>また、5月に感染拡大防止対策を講じるための補助金を商店街へ交付し、7月からは感染予防に取り組む店舗へ「新しい日常取組宣言」ステッカーの配布や、区産業情報誌「ネットワークたいとう」に店舗情報を掲載するなど、安全・安心に取り組む店舗であることを紹介し、10月からは月に1回感染予防の知識等を学べる講習会を開催いたしました。</p> <p>特に飲食店での感染予防が大切であるため、飲食店関係者を対象とした講習会実施後、受講者を「新しい日常取組推進員」に認定し、感染防止対策の啓発や助言等の活動に係る経費を補助しております。</p> <p>今後も、地域経済の活性化のために必要な消費喚起策を検討してまいります。</p> <p>※商店街が共同して実施する売出し事業に対し、支援を行う準備を進めています。 (産業振興課)</p>	<p>○</p>

◇自転車の運転マナーについて

質問	回答	対応
<p>自転車は環境にやさしく、便利な交通手段であり、最近は、新型コロナウイルスの影響で、通勤や宅配に自転車を利用する方も増えています。</p> <p>しかしながら、以前から自転車の運転マナーの悪さが気になっています。走行中の携帯電話の使用、自転車走行レーンの逆走、信号無視、傘をさしながらの運転など、危険な行為がたくさんあります。</p> <p>事故が起きないように、区からマナー指導・啓発をよろしくお願いします。</p>	<p>自転車利用者の中には、「ながら運転」や「傘さし運転」など、危険な運転を行っている人が見られます。</p> <p>区では、自転車利用者の交通ルールの徹底に向け、区内の警察署と合同で、小学生や中学生への交通教育や一般区民向けの講習会を毎年実施しているほか、街頭キャンペーンやケーブルテレビでの啓発番組制作などにより、安全意識の向上を図っております。</p> <p>また、都内における相次ぐ自転車事故を受け、先般、区内の全警察署に対し、危険運転者に対する指導・取締りの強化について申し入れを行いました。</p> <p>馬道地区については、11月に、浅草警察署と合同で自転車利用者向けの街頭キャンペーンを実施したところです。</p> <p>引き続き、交通事故の防止に向け、各警察署と連携しながら自転車利用者への啓発に取り組み、自転車の安全利用の促進を図ってまいります。</p>	<p>○</p>

《 雷 門 地 区 町 会 連 合 会 》

開催日：12月7日（月）

◇ホームレス対策とコンクリート芸術作品の撤去について

質問	回答	対応
<p>隅田公園内にコンクリート花壇作品が設置されております。周囲には、ホームレスの若者、老人など多数の方が、食事や寝起き等をされています。東武鉄道と平行してすみだリバーウォーク歩道橋が設置されましたが、近隣の方や観光客の中には大変驚かれる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。水上バスや電車での表玄関であり、出入口でもあります。ホームレスの方が自立した生活を早く送れるよう支援をしていただくことはできないのでしょうか。</p> <p>作品を撤去し、樹木、花壇などを整備し、区長が進めていらっしゃる花の美しさ、安らぎのある浅草にしてください。</p>	<p>隅田公園内にあるご指摘の作品は、台東区・墨田区・東京藝術大学の連携事業として制作した作品群の一つです。東京スカイツリーから浅草地域をアートで結び、隅田川エリアを散策できる回遊ルートの創設を目的としております。作品の撤去については、関係機関との協議が必要であり、作品が一つでも欠けてしまうと回遊ルートとしての意義を失ってしまうため、難しい状況です。本作品は毎月、点検やメンテナンスを実施し、植栽が良好な生育状態を維持できるように管理しております。</p> <p>また、隅田公園内の路上生活者の状況については、関係者が情報共有し、対応を検討しています。区独自の支援策として、区職員や地域のNPO法人の医師や看護師が同行し、健康状態や生活状況の聞き取り、区役所への相談を促すなど、巡回生活相談を定期的実施しております。</p> <p>今後も、路上生活者が安定した地域生活を健康的に送ることができるよう、関係機関と共に働きかけを続けてまいります。</p>	△

◇防火！火災警報器交換期にあたり

質問	回答	対応
<p>台東区がキャンペーンを打って、住宅用火災警報器を販売して、はや11～12年になり、すでに交換時期になっています。区民（町会員）がより安価に購入できるよう、今一度キャンペーンを打っていただきたい。</p>	<p>住宅用火災警報器は、東京都火災予防条例に基づき、平成22年4月1日より、すべての住宅への設置が義務化され、10年が経過しております。電子部品の寿命や電池切れなどにより、設置後約10年で交換することが推奨されているため、現在、交換の時期にきていると思われます。</p> <p>区では、家庭用防災用品を特別価格であっせんしており、住宅用火災警報器も取り扱っております。交換や新規購入の際に、ご利用いただければと思います。</p> <p>また、このあっせん制度では、地震対策用品や非常食料等の様々な防災用品を扱っています。近年、全国で自然災害が発生し、甚大な被害が出ております。このような災害に備え、防災用品を揃える際に、ぜひご活用ください。詳細につきましては、担当の危機・災害対策課までお問い合わせいただきますよう、お願いいたします。</p>	<p>—</p>

◇コロナ禍における東京都との連携について

質問	回答	対応
<p>今回のコロナ禍において、令和2年8月13日より当町にあるビジネスホテルが入院治療の必要のないコロナ患者の宿泊療養施設になりましたが、開設連絡は予定日の9日前、地区センターの所長からでした。数時間後、東京都福祉保健局の職員が来られ、感染症対策への取組及び施設運営の理解と協力依頼の説明がありました。</p> <p>台東区のホームページでは令和2年2月3日に「台東区新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、「国や都の動向を踏まえつつ、区内での情報共有や区の対応等を協議」とあります。また、8月12日に「台東区では、新型コロナウイルス感染症の方々のうち、入院治療が必要のない軽症者や無症状の方については、大切なご家族やお友達等に感染させないよう、また、症状が急変した時にも適時適切に対応できるよう、東京都が用意した施設において宿泊療養をお願いしております」との記載があります。しかしながら、宿泊療養施設開設について、台東区新型コロナウイルス感染症対策本部等からの説明等は一切ありませんでした。</p> <p>現在も、宿泊療養施設に関しては都の担当が唯一の窓口ですが、台東区としての関わりはできないのでしょうか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の宿泊療養施設として使用するホテルについて、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。</p> <p>軽症や無症状の方については、宿泊療養施設で療養していただくことで、症状の重い患者のための病床確保を図っております。宿泊療養施設については、施設の選択や患者の移送等、全て東京都が運営しております。</p> <p>そのため、東京都からの開設連絡を受け、区公式ホームページ等で情報を周知するとともに、区民事務所等を通じて町会の皆さまへお伝えいたしました。</p> <p>今後も様々な方策を講じ、より早く情報を伝え、皆さまが安全で安心して生活できるよう、感染拡大防止に努めてまいります。</p>	<p>—</p>

《 竹 町 地 区 町 会 連 合 会 》

開催日：12月8日（火）

◇危険走行自転車対策について

質問	回答	対応
<p>最近目立つ「デリバリー自転車」の運転者は、常にドライブモニターを見ながら危険走行をしています。</p> <p>幼い子供や高齢者は、自衛が必要になりますので、狭い交差点等に「反射鏡」の増設をお願いできないでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、自転車を利用したデリバリーサービスが広く普及し、区内でも、自転車配送員を頻繁に見かけるようになりました。自転車走行中に、スマートフォン等を操作したり、画面を見たりする「ながら運転」は、道路交通法で禁止されており、大変危険な行為です。</p> <p>区では、相次ぐ自転車事故を受け、区内の全警察署へ、危険運転者に対する指導・取締りの強化について申し入れを行いました。また、11月には警察と合同で、宅配事業者や自転車配送員への講習を実施いたしました。</p> <p>引き続き、各警察署と連携しながら、自転車の安全利用の促進に取り組み、危険運転の防止を図ってまいります。</p> <p>また、道路反射鏡については、原則として見通しの悪い交差点等に設置するものです。設置につきましては現地確認が必要となります。担当の土木課より会長に連絡いたします。</p> <p>※令和3年1月、会長へ連絡し、説明しました。（土木課）</p>	<p>—</p>

◇歩道の商用占有の防止について

質問	回答	対応
<p>区内歩道の「商用専有」が日常化している箇所が目立ちます。乳母車が行き交う交差点の歩道部分に、二方向共に大きく販売台を出している店舗もあります。</p> <p>強く指導し、区民の安全を確保していただきたいです。</p>	<p>道路や歩道上に商品やテーブル等を置くことは、交通の妨げとなり道路法及び道路交通法違反となるため、区では道路パトロールを実施し、是正に向けた指導を行っております。</p> <p>道路不法占有物件について、所有者が判明している場合には、自ら移動させることが基本となるため、不法占有の状態が改善されるまで粘り強く指導を行ってまいります。</p> <p>また、上野や浅草などの繁華街では、所轄の警察署や地元商店会との合同パトロールも実施しております。</p> <p>今後も関係機関と連携し、良好な道路状態を保ち続けられるよう努めてまいります。</p> <p>※令和2年11月、指摘のあった店舗に指導を行い、商品のはみ出しについては是正させました。（道路管理課）</p>	<p>○</p>

◇青色パトロール車の運用について

質問	回答	対応
<p>隣の区では、夜間でも「青色回転灯付きパトロール車両」が巡回しています。</p> <p>台東区が予算的に苦しい事情は分かりますが、せめて金曜日だけでも、夜9時頃まで巡回時間を延長できないでしょうか。</p>	<p>区の青色パトロール車は、「子どもの安全確保」を目的として、保育園や小・中学校等の登下校の時間帯にあたる午前7時から午後7時の間に、巡回パトロールを実施しております。また、土曜日や日曜日、夏休み等の学校休業日は、午前8時30分から午後8時30分の間に実施しております。</p> <p>事件等が発生した場合には、巡回の時間や回数を調整し、その地域の重点的な巡回も行っております。</p> <p>巡回時間の変更・拡大については、区の財政状況等を踏まえ、また、地域の皆さまからのご意見を参考に考えてまいります。</p>	<p>☆</p>

◇「住み良い街 台東」について

質問	回答	対応
<p>安心、安全、花と緑の多い街に向けての施策を教えてください。</p> <p>また、商店街活性化への妙案について、お考えをお聞かせください。</p>	<p>区内の安全・安心に向けた施策として、子どもの安全を見守る、青色回転灯付パトロール車両による区内全域の巡回を毎日実施しております。上野地区では、上野駅周辺を客引き行為等防止特定地区に指定し、客引き行為者に対しては、指導・警告・勧告を行っております。今後も、警察や関係団体、地域の皆さまと情報を共有し、犯罪に強い街づくりに努めてまいります。</p> <p>また、区では「花の心プロジェクト」を推進し、区民の皆さまに花とみどりに親しむ暮らしを普及するため、花の苗や種子の配布、園芸講習会の開催等により、身近な場所で花を育てていただく機会を提供しております。今後も、既存の花壇を管理しながら、区内全域で花のまちづくりに取り組んでまいります。</p> <p>そして、商店街に対しては、感染防止策を講じるための補助金を5月に交付いたしました。現在、商店街では、独自の感染予防計画に基づき、対策を講じたうえで徐々にイベントを再開しております。さらに、消費喚起策として、来年春に開催される事業への支援も検討しております。また、御徒町・蔵前の「カチクラ地域」へは、モノづくりのまちを散策し、魅力を体験してもらう地域連携事業「モノマチ」に対し、補助をしております。今年度はオンライン開催となりましたが、参加者のニーズを取り込んでいるように感じております。今後も、効果的な支援を継続できるよう努めてまいります。</p>	<p>○</p>

◇町会掲示板について

質問	回答	対応
<p>当町会の掲示板設置場所が2か所しかないで、町会員に区政・区行事・慶弔等を周知するのに少ないと考えます。隣接する3町会と接する舗道等に、あと2か所ほど、掲示板の設置を希望します。</p> <p>掲示板の設置基準等があればお知らせください。町会の広さや世帯数も関係していますか。</p>	<p>掲示板は、町会や区などからの情報を伝達する重要なものであり、地域の身近な場所に設置しております。</p> <p>掲示板の設置にあたっては、町会の広さや世帯数、既存の設置数などを考慮しつつ、最大限効果的な配置となるよう、皆さまと相談・検討し、設置や移設を行っております。道路占用許可基準上、設置できない場所や一時的に工事のできない期間があります。</p> <p>設置にあたり、ご不明点等もあると思いますので、担当の区民課から連絡いたします。</p> <p>※令和2年11月、会長へ連絡し、説明しました。（区民課）</p>	<p>△</p>

◇台東病院について

質問	回答	対応
<p>約1年前、国による公立病院等の再編・統合の必要がある病院リストに、台東病院が掲載されました。</p> <p>区長は、「区にとって必要不可欠な病院である」とコメントされていますが、その後の区のお考えをお聞かせください。区民の大切な病院です。</p>	<p>令和元年9月に国が発表した、公立病院等の再編・統合については、各都道府県が設置する「地域医療構想調整会議」で議論を進めることとなっております。</p> <p>台東病院も対象に含まれており、令和元年11月に開催された東京都の「地域医療構想調整会議」において、台東病院の地域における役割や特色について説明いたしました。</p> <p>本調整会議の中で「台東病院の取り組みは素晴らしく、高齢者をトータルで診る医療は重要である」と評価していただき、「区中央部の医療圏としては変更の必要はない」との結論が出されました。</p> <p>その後、令和2年3月に、国から「改めて整理の上、通知する。」と、再検証の見直しの方向性が示されたため、8月に、本区選出の2名の国会議員に、再検証の対象病院の見直しを要請いたしました。</p> <p>区といたしましては、台東病院は、地域包括ケアシステムを支える病院として、さらに区民の皆さまが安心して地域で医療を受けられる高齢者医療の拠点病院として、今後も存続させてまいります。</p>	<p>○</p>

「台東区スポーツ推進委員協議会との語る会」

開催日：11月24日（火）

◇小学校のキャパシティーと旧上野忍岡高校の跡地について

質問	回答	対応
<p>1990年代の児童数の減少によって小学校の統合があり現在に至りますが、近年はマンションの乱立により、児童数も増加しているように思います。統合時に広くなった学区により、教室が足りていないなど、児童数がキャパシティーに対応していない小学校が少なからず見られます。今後、学区の調整や越境の制限などのお考えはありますか。</p> <p>また、旧上野忍岡高校跡地にスポーツや教育施設等の建設予定はありますか。</p>	<p>児童数は増加傾向にありますが、現在、教室数が不足している区立小学校はございません。</p> <p>教室数の不足が予測される場合には、まず、区内在住者が指定校以外の学校に入学する「指定校変更」や、区外在住者が区内の学校に入学する「区域外就学」の制限を行い、さらに対応が必要な場合には、特別教室等の普通教室への転用等で確保してまいりました。今後も、教育委員会において適切に対応してまいります。</p> <p>また、通学区域の再編については、これまで学校が培ってきた地域との関係や歴史的経緯を十分尊重する必要があることや、保護者や学校、地域に与える影響が大きいことから、慎重な対応が必要と考えております。</p> <p>旧上野忍岡高校跡地については、令和7年3月末まで、敷地西側は北上野保育室として活用いたします。現在、更地となっている敷地東側は、松が谷福祉会館の移転先として本格活用し、福祉機能をより充実させるとともに、子供と若者の相談や発達障害児への支援をさらに強化し、利用者に合わせた、より使いやすい施設整備を進めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇来年度のスポーツイベント及び放置自転車について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況によりますが、東京オリンピック・パラリンピックや東京マラソン、台東区民体育祭、スポーツフェスタ等、来年度のスポーツイベントを開催するにあたり、台東区として、予防対策についてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>また、早朝でも、浅草通りや国際通りなどの特にマンション前に、かなりの数の放置自転車があります。もう少し規制をしていただきたいと思います。</p>	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会については、国や都、組織委員会等で構成される「東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議」において、アスリートや観客等、それぞれの観点で対策が検討されており、区もその動向を注視しております。</p> <p>聖火リレー出発式のセレモニーや各種イベント時には、「台東区新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」等も踏まえ、ソーシャルディスタンスの確保や検温、消毒等を行い、感染予防対策に取り組んでまいります。</p> <p>来年度の大会やイベント等を安全安心な環境で迎えられるよう、引き続き関係機関と連携し、必要な対策を講じてまいります。</p> <p>放置自転車について、区では、駅周辺を「指導整理区域」に指定し、放置自転車指導員による指導や撤去を行っております。ご意見をいただいたマンション前の通りは、指導整理区域外であると思われませんが、自転車の放置については、現在、管理組合等を通じた啓発などを行っているところです。</p> <p>今後も、放置自転車の削減に向け、指導や撤去のほか、区民等への啓発に取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇施設開放について

質問	回答	対応
<p>リバーサイドスポーツセンターは、人数制限などの感染症対策を設け利用できる様になり、だいぶ時間が経っているのに対し、コミュニティーや学校開放については、他区と比べて再開が遅れているように見受けられますが、どのような理由で遅れているのか、お伺いいたします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、区立小中学校の施設開放を9月まで制限しておりましたが、10月から校庭を、11月から体育館等の屋内施設の利用を再開しました。</p> <p>利用にあたり、感染症対策チェックリストの順守、利用者名簿の作成・保管、利用後の設備や備品の消毒など、感染症拡大防止に取り組んでいただけることが条件となります。</p> <p>再開までの間、ご不便をおかけし、申し訳ございませんでした。引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底し、皆さまに安心してご利用いただけるよう努めてまいりますので、ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>	<p>◎</p>

◇子育て支援について

質問	回答	対応
<p>23区初の妊婦への給付金制度、素晴らしいと感じました。今回の制度も含め、他の区と比べて子育て支援制度や事業が充実してきているとは思いますが、待機児童などはまだまだ多いと感じます。</p> <p>妊婦や子育ての支援について、今後の計画などがあれば、知りたいです。</p>	<p>区では、コロナ禍における支援として「台東区妊婦等応援特別給付金」のほか、児童手当受給世帯への給付金、ひとり親世帯への臨時特別給付金等の各種給付をいたしました。</p> <p>また、これまで「ゆりかご・たいとう面接（妊婦全数面接）」や「乳児家庭全戸訪問」等を通して、子育て支援や虐待予防を図っております。さらに今年度から、「産前産後支援ヘルパー」の利用対象を拡大するとともに、3歳未満の双子や三つ子といった多胎児を養育する家庭に対し、母子保健事業のために外出する際のタクシー利用料金をサポートするなどの支援を開始しました。</p> <p>今後は、母親自身がセルフケア能力を育み、家族ですこやかな育児ができるよう「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」の拡充についても検討してまいります。</p> <p>台東区の待機児童数については、令和2年4月1日時点で60人であり、昨年度からわずかに減少しましたが、未だに多い数字となっております。そこで、今年度、認可保育所等を新たに4か所開設いたしました。また、増加する保育需要を見据え、「子ども・子育て支援事業計画」の見直しを行いました。今後も、待機児童解消に向けて保育所等の整備を進め、子育て世帯が安心して働くことができる台東区を目指してまいります。</p>	<p>—</p>

◇第5世代移動通信システムを利用した台東区スポーツ推進について

質問	回答	対応
<p>日本では2020年春から第5世代移動通信システム（5G）を利用したサービスが始まり、次世代通信インフラとして、台東区にも大きな技術革新をもたらすとされています。</p> <p>この技術革新により、スポーツを「やる人」、「観る人」、「支える人」に新たなスポーツ推進が可能だと考えます。</p> <p>しかし、5Gを利用したスポーツ推進例は多くありません。5Gを利用し、どのように区のスポーツ推進を実施すべきか、お考えを拝聴したく存じます。</p>	<p>第5世代移動通信システム（5G）を利用したサービスについては、スポーツに限らず、あらゆる分野で大きな技術革新をもたらすものと思われます。</p> <p>区では、「新しい生活様式」の下でのスポーツ推進として、来年度から新たにzoomを活用したオンラインスポーツ教室の実施を予定しております。</p> <p>5Gを利用したスポーツ推進については、環境の整備が必要となることから、関係部署とも協議し、多様化する区民ニーズに対応できるよう、今後の社会情勢を見据えながら検討してまいります。</p>	<p>—</p>

「『新成人を祝う会』実行委員会との語る会」

開催日：12月2日（水）

◇台東区の観光業について

質問	回答	対応
<p>昨今の新型コロナウイルスにより、台東区に来て下さる観光客の方の客層がガラッと変わったと感じています。特に若い20才前後のお客様が増えたと感じています。</p> <p>インターネットのサイトなど、SNSも若者向けに作り変えていくのはどうでしょうか。「#たいとう愛」のインスタグラムも拝見しましたが、どのようなコロナ対策を行っているかというよりも、コロナ禍でもどのような魅力があるのかを知りたいですし、発信するべきだと思います。</p> <p>ぜひ、ご検討をお願いいたします。</p>	<p>観光客の中には、感染状況の高止まりを警戒し、東京への来訪を控えている方が多い状況にあると思われます。そのような中、InstagramやTwitterを活用した「#たいとう愛」において、区内観光事業者のコロナへの取り組みや、安全をアピールしつつ、事業者のアカウントの存在を広く伝えています。</p> <p>また、区では新しい日常に取り組んでいることを掲示する「宣言書ステッカー」の配布や、区の産業情報誌「ネットワークたいとう」に店舗情報を掲載するなど、安全・安心に取り組む店であることを紹介しております。</p> <p>ご提案のとおり、魅力発信は重要であり、今後も力を入れていきたいと考えます。これからを担う皆さんにも、その若い感性で、ぜひ台東区の魅力をSNS等で発信していただければと思います。</p>	<p>○</p>

◇台東区内の美術館等への入場料について

質問	回答	対応
<p>台東区在住の大学生も、台東区の美術館や動物園へ安い入場料で入ることができれば良いと思っていますが、一つの提案としていかがでしょうか。</p>	<p>まず区立の文化施設についてですが、下町風俗資料館、一葉記念館、朝倉彫塑館、旧東京音楽学校奏楽堂、書道博物館の5施設については、大学生限定ではありませんが、5館共通入館券を販売しており、通常の入館料よりも割安でご入館いただけます。また、台東区循環バス「めぐりん」や墨田区の循環バス等を自由に乗り降りすることのできる「台東・墨田 東京下町周遊きっぷ」をご提示いただくと、割引を受けることもできます。区立の文化施設が若い世代の方々にさらに足を運んでいただける施設となるよう、今後も努めてまいります。</p> <p>次に区立以外の施設については、東京国立博物館と現在休館中の国立西洋美術館において、大学生であることを証明できるものをご提示いただくと、常設展は一般料金の半額で入場できます。また、特別展、企画展で大学生料金が設定されている場合もあります。その他の美術館、博物館でも、特別展、企画展等、各展覧会で大学生料金が設定されている場合がありますので、ご入場の際にお問い合わせいただければと思います。</p> <p>台東区には、区立や都立、国立等、多くの文化施設があり、素晴らしい文化や芸術に身近に触れることのできる恵まれた環境にあります。区では、この文化や芸術に気軽に親しんでいただけるよう「たいとう文化マルシェ」という文化芸術総合サイトを設けておりますので、こちらもぜひご覧ください。</p>	<p>—</p>

◇地域活性化について

質問	回答	対応
<p>台東区には大学が少ないこともあり、学生が主体の地域活性化のプロジェクトが少ないように感じます。</p> <p>私は、福祉について大学で学んでいるため、台東区の高齢者や子どもたちを巻き込んだイベントなどを企画してみたいと思っています。何かアドバイスや「このようなイベントがあると良い」というものがあれば、教えていただきたいです。</p>	<p>区では、行政や多くの地域団体等が様々なイベントや事業を行っております。例えば、中高生が地域の方と協力し、イベントを運営・開催する青少年フェスティバルや、子育て世代向けの自然教室イベント等を行っております。</p> <p>また、台東区社会福祉協議会では、地域住民や区内ボランティア団体等と協働し、地域の絆を深め、共に支え合う地域福祉社会の実現を目指したボランティアフェスティバルの開催もしております。</p> <p>地域包括支援センターと医療機関が連携して実施している「認知症カフェ」という事業もあります。参加者の多くが高齢者ではありますが、認知症の方やその家族、認知症に関心のある方など誰でも参加でき、医療や介護の専門職、同じ立場の方々とお茶を飲みながら話し合うことができます。</p> <p>その他にも、町会や地域団体、NPO法人等の各種団体と連携した事業を行っております。</p> <p>今後、ご自身でイベントを企画するにあたっては、まずは町会や区の行事等に参加し、ボランティアなどで運営に関わってみてはいかがでしょうか。そうした活動を通じて、高齢者や子供を巻き込んだイベントの企画のヒントを見つけてもらえると、大変嬉しく思います。</p> <p>各種事業やイベントの詳細、ボランティアへの申し込み方法等については、区公式ホームページでご確認いただけますので、ご覧ください。</p>	<p>—</p>

◇新成人に必要な心がけについて

質問	回答	対応
<p>二十歳を迎えた新成人に必要な心がけは何か、また、台東区長はどのような心がけをお持ちでしょうか。</p>	<p>今まで皆さんは、家族や学校など、多くの方に守られてきました。二十歳を迎えると、一人の「大人」として様々な権利が与えられ、その権利には個人としての責任が伴います。新成人になるうえで、「大人として社会の一員であることを自覚し、責任ある行動をとっていく」、「自ら考え、自主的に行動する」ということを心がけていただければと思います。</p> <p>来年は、待望の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される予定です。</p> <p>日本が初めてオリンピックに参加したのは、108年前の大正元年、第5回ストックホルム大会でした。大会団長の嘉納治五郎は、講道館柔道の創始者であり、その発祥の地は、台東区の稲荷町にある永昌寺というお寺です。嘉納治五郎は常々、「若い力を、自分のためだけに使うのではなく、社会のために使い、他の人と共に栄える世の中にするために生きていくことが大事なのだ。」という講道館柔道の精神「精力善用」「自他共栄」を説かれていました。</p> <p>今年予定されていたオリンピック・パラリンピックは、新型コロナウイルス感染症のため来年に延期となりました。</p> <p>皆さんも、これからの人生において、様々な困難や予定外の事態が起こることもあると思います。そのような時、「精力善用」「自他共栄」の精神を持ち、「本を忘れず、末を乱さず」前向きに歩んでいただきたいと思います。</p> <p>私も、若い力を存分に発揮できる環境づくりを心がけています。新たな時代を担う皆さんに大いに期待しております。</p>	<p>—</p>

◇待機児童について

質問	回答	対応
<p>私の弟が保育園に入る際、両親が共働きであり、保育園に入ることができずに困っていました。今は改善しているのでしょうか。</p> <p>私たちの子どもが生まれたときに台東区に住むのなら、待機児童数が0であってほしいです。</p>	<p>共働き世帯の増加等により、保育所への入所希望が増えております。区の待機児童数は、平成28年度の240人をピークに年々減少し、令和2年4月1日現在で60人になりましたが、未だ多い数字となっております。</p> <p>区では、増加する保育需要を見据えて、令和2年3月、保育所整備の計画である「子ども・子育て支援事業計画」の見直しを行い、4月に認可保育所を3か所、6月に緊急保育室を1か所開設し、266人の受け入れを行いました。さらに、令和3年4月には3か所の施設を整備し、159人の受け入れを行ってまいります。</p> <p>今後も、待機児童解消に向けて保育所等の整備を進め、子育て世帯が安心して働くことができる台東区を目指してまいります。</p>	○

◇マイナンバーカードについて

質問	回答	対応
<p>マイナンバーカードの手続きを行って2か月程が経過したのですが、発行まで3か月程もかかることを知り、遅すぎるのではないかと感じました。</p> <p>6月15日にも台東区のマイナンバー関連システムに障害が起きているように、区のデジタル化があまり進んでいないと感じています。</p> <p>デジタル庁が新設されたことで、台東区としてどのようにデジタル化を進めていく予定でしょうか。</p>	<p>今年度は、特別定額給付金やマイナポイント等の影響で、マイナンバーカードを申請する方が急増しました。マイナンバーカードは確認事項も多く、申請から交付まで2か月半から3か月程かかる状況が続いております。</p> <p>今後も国や関係機関と連携し、必要な要望を伝え改善に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、行政のデジタル化を推進するため、現在区では、新たな情報化推進計画を策定しております。技術革新の急速な進展や新型コロナウイルス感染症対策等、ICTの動向や社会状況の大きな変化に柔軟かつ適切に対応し、デジタル化を通じて区民の皆さまの利便性向上と行政の効率化を図ってまいります。</p>	○

◇コロナ禍においての三社祭・酉の市の実施について

質問	回答	対応
<p>ほとんどのお祭りが中止になる中で、三社祭・酉の市を延期して行った理由は何かあるのでしょうか。</p> <p>また、神輿を車移動で行っていましたが、他にも対策をしていたことを教えてくださいたいです。</p>	<p>各神社の祭礼等は、区が直接的に関与しているものではございませんが、三社祭については、1年に1度の「本祭り」として必ず斎行される御祭礼であり、社殿で執り行われる「例大祭式典」と共に、氏神様に氏子の町々の様子をご覧いただき、そのご神徳を授かる事が本義となることから、お神輿の移御を実施したと聞いております。</p> <p>また、酉の市については、様々な行事やイベントが中止となる中、中止にするのではなく出来る事をして、歴史と伝統を守る活動をする事が大切だと考え、当初の日程どおりに実施したと聞いております。</p> <p>どちらのお祭りも出入り口の制限や、検温・手指のアルコール消毒・マスク着用の依頼等を行い、さらに、三社祭では神事斎行時の境内の規制区域の設置、酉の市では手締めのかげ声や祝い酒の振る舞いの中止等、様々な感染予防対策を施したうえで実施したとのことです。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年開催されているお祭りやイベントが、中止や規模縮小等の状況にあります。区といたしましても、区民の皆さまが安全で安心して生活を送ることができるよう、引き続き、感染防止対策に全力で取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇台東区の性的マイノリティの方への配慮について

質問	回答	対応
<p>台東区は、歴史と文化に大変恵まれたゆかりを持ち、そうしたゆかりを背景に、国内外から様々な人が集まり、ある種の多様性が色濃く見られる、素敵な街だと住みながら感じます。今後も、様々な人を受け入れてゆくこととなるのだろうと思います。</p> <p>そうした多様性について、時に考えるのは、台東区の性的マイノリティの方々への配慮のあり方は、どのようになっているのか、ということです。例えば、他自治体で導入が進んでいる同姓パートナーシップ制度は、台東区では導入されていません。行政が多様なパートナーのあり方を認めることは、異議深いように思います。性的マイノリティの方への配慮の取り組みのうち、同姓パートナーシップ制度についてはあくまで一例ですが、台東区行政として、現在どの程度検討されているのか、教えていただけないでしょうか。</p>	<p>区では、令和2年度から6年度までを計画期間とする「台東区男女平等推進行動計画」において、取り組みの方向性の一つに「性の多様性に関する理解の促進と相談体制の整備」を新たに位置付けました。</p> <p>こうしたなかで、多様な性の在り方への理解を広めるために、講演会などの機会を通じて啓発活動を行うほか、カウンセラーによる相談業務を実施し、理解の促進や悩みに対する支援に努めております。</p> <p>また、区で使用している申請書や証明書等について、不要な性別欄を設定しない取り組みも行っております。</p> <p>同性パートナーシップ制度の導入については、相談業務の中で蓄積される地域のニーズを勘案し、今後、慎重に検討していきたいと考えております。</p>	<p>☆</p>

◇学生と町の関わりについて

質問	回答	対応
<p>小学校・中学校では、仲見世通りでインタビューや職業体験を行っていたと思いますが、現在はどのように行っているのでしょうか。また、コロナの影響でできない場合、代わりに何か行っているのでしょうか。</p>	<p>仲見世通り商店街におけるインタビュー活動については、国際理解や伝統工芸への理解を目的に実施してまいりました。しかし、観光客数等が増加し、人や車等の往来が激しくなったため、各校の判断により、規模を縮小して実施しております。また、以前から、各校で地域の方をゲストティーチャーとして招き、仕事内容や地域活動等のお話を伺う機会を設け、地域に対する理解を深める学習を進めております。</p> <p>また、職業体験については、今年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。勤労観・職業観を育てるための「キャリア教育」は必要であることから、今年度については、各校で卒業生や地域の伝統工芸職人等をゲストティーチャーとして招き、お話を伺う機会を設けました。</p> <p>今後も、地域の方などに教育活動に参加していただき、生徒が地域に興味や関心を持つような授業を行ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇広報紙について

質問	回答	対応
<p>区の広報紙をペーパーレス化する予定はあるのでしょうか。</p> <p>紙で印刷するのであれば、紙面ならではの情報があっても良いのではないかと思います。</p>	<p>区の広報紙「広報たいとう」は、区の施策や事業、行事など区政情報を提供する主要な広報媒体として、月2回発行し、紙媒体で各世帯にお届けしております。紙媒体のほかに、区公式ホームページや多言語対応デジタルブック（カタログポケット）等の電子媒体でも閲覧できるようにしておりますが、区政情報を紙媒体で入手している方や、パソコンやスマートフォンなどを所持していない方もいらっしゃるため、紙媒体の広報紙は今後も必要であると考えております。今後も、魅力ある紙面づくりに努めてまいります。</p> <p>また、区では、広報紙以外にも、区公式ホームページ、Twitter、LINEなど、様々な媒体を活用し、より効果的に情報発信ができるよう取り組んでおります。災害時に区が発信する最新情報の確認等ができる、防災アプリ「台東防災」等の専用アプリも設けておりますので、ぜひ各種媒体をご覧ください。</p> <p>区からの情報をより多くの方に届けるため、引き続き、紙媒体と電子媒体を効果的に活用し、情報発信に努めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇路上生活者の支援について

質問	回答	対応
<p>先日、台風が接近した際には、路上生活者の避難場所を設置することを決定したという新聞記事を拝見しました。</p> <p>様々な方からの意見を取り入れ、新たな体制をつくろうとされる姿勢に区民として、とても安心しました。</p> <p>歴史的にも日雇い労働者などが多く過ごす台東区で、区としての支援や対応など、今後のビジョンを教えてください。</p>	<p>区では、生活保護法やホームレスの自立支援等に関する特別措置法等の各種法令に基づき、日常生活への支援が必要な方や路上生活者への支援を行っております。</p> <p>区独自の支援策として、巡回生活相談を行っております。区職員や地域のNPO法人の医師や看護師が同行し、健康状態や生活状況の聞き取り、区役所へ相談に来てもらう案内等を行っております。このように行政と地域のNPO法人が協力して実施する体制を取っているのは、都内では台東区だけです。</p> <p>丁寧に働きかけを続け、信頼関係を築いていくことが、路上生活から脱却するための第一歩になると考えております。今後も、一人でも多くの方が地域生活に移行し、健康で安定した生活を送ることができるよう、関係機関と共に粘り強く支援を行ってまいります。</p> <p>また、災害時の対応については、今年度、路上生活者を含むすべての方が安全に安心して避難できるよう「台東区風水害対応方針」を策定いたしました。情報が伝わりづらい環境にある路上生活者に対しても、情報を周知し、避難場所の提供を行う支援をしてまいります。併せて、必要とする方には生活相談も行う予定です。</p> <p>今後も安心して避難ができるよう、関係団体との協議を含め、検討してまいります。</p>	<p>—</p>

◇駐輪場の増設について

質問	回答	対応
<p>台東区は駅の周辺になると、指定されていない場所で自転車が置かれています。街づくりの為に、更に自転車の駐輪場を各駅に増やすことは考えているのでしょうか。</p>	<p>区では、駅周辺を中心に自転車駐輪場を整備している13の地域を「指導整理区域」に指定し、放置自転車指導員による指導や撤去等、放置自転車対策を行っております。</p> <p>放置自転車の台数は、減少傾向にありますが、依然として多い場所も見受けられます。区としても、駐輪場用地を探しておりますが、場所の確保は難しい状況です。</p> <p>今後も、駐輪場用地の確保に努めていくとともに、自転車を共有する「シェアサイクル」や、民地の空きスペースを一時的な駐輪スペースとして活用する「駐輪場シェア」を推進することにより、放置自転車の削減を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇ゴミ箱の設置について

質問	回答	対応
<p>台東区はゴミ箱を設置しないのですか。</p>	<p>区では以前、道路にごみ箱を設置しておりましたが、まちの景観が損なわれてしまい、また、たばこの吸い殻の投げ入れ等による火災も懸念されたため、ごみ箱を撤去いたしました。そのため、ごみは持ち帰り、ご自身で分別して出していただくようお願いしております。</p> <p>また、ごみ箱がなくても台東区がきれいな街であり続けられるよう、「東京都台東区ポイ捨て行為の防止に関する条例」により、ポイ捨てを禁止するとともに、マナー指導員による巡回・声掛けや、清掃ボランティアである大江戸清掃隊による活動などを行っております。</p> <p>今後も、様々な啓発活動を実施することでまちの美化に努めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇観光客を取り戻すために

質問	回答	対応
<p>コロナウイルスにより、台東区、主に浅草への観光客が激減し、店舗の閉店も多く見受けられます。最近では、オンライン人力車というzoomでどこからでも人力車体験ができるサービスが取り上げられていましたが、区として観光客を取り戻すために何かされていることはありますか。また、このようなコロナ禍で、今後どのような街を目指していきたいと考えていますか。</p>	<p>感染者の少ない地域のお客様等は、感染状況の高止まりを警戒して、東京への来訪を控える方が多い状況にあると思われます。</p> <p>減少した観光客を再び増加させていくために、InstagramやTwitterを活用し、区内観光事業者のコロナへの取り組みや、安全をアピールしつつ、事業者のアカウントの存在を広く伝える目的で「#たいとう愛」を開始しました。さらに、新しい日常に取り組んでいることを掲示する「宣言書ステッカー」の配布や、感染予防の講習会等を通じて、区内施設・事業者の感染対策を後押しし、安全な観光ができる環境を整えると共に、観光客の来訪を促すため、民間事業者などと連携したプロモーションも実施しております。</p> <p>今後も選ばれる観光地であり続けるために、安全で安心して訪れることができる街を目指してまいります。</p>	○

◇子ども食堂について

質問	回答	対応
<p>子ども食堂や学習支援などの活動を、子どもに対しても、企業や飲食店に対しても、もっと広めるような活動をしたいと思っておりますが、台東区でそのような活動はございますか。</p>	<p>現在区内では、4団体により、子供食堂と学習支援を5か所開設しております。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部活動を中止しておりますが、感染症対策を施したうえで、活動を順次再開しております。</p> <p>活動の様子は、区公式ホームページに掲載し、広く周知をしており、条件を満たす団体には補助金の支出も行っております。</p> <p>また、学習支援にご協力いただけるボランティアの募集を区で行っております。ぜひボランティア活動にもご参加いただき、支援の輪を広めていただければと思います。詳細は、担当の子育て・若者支援課までお問い合わせいただきますようお願いいたします。</p>	○

令和2年度
区長と語る会結果報告書

編集・発行 令和3年3月
台東区総務部広報課
令和2年度登録第72号